

# 環境活動レポート

## 2017年版

〈2016年3月1日～2017年2月28日〉



来ハトメ工業株式会社



1. はじめに	2
2. 会社概要	3
1) 登録事業者の概要	
2) 沿革（当社71年のあゆみ）	
3) 設備概要並びに従業員紹介	
3. 環境マネジメントシステム	13
1) EA21環境経営組織図	
2) 役割責任及び権限	
3) 2016年度の変更点	
4. 環境方針	14
5. 環境目標と環境活動計画	15
1) 過去5年間の環境負荷の実績と中期環境目標	
2) 2016年度環境活動計画	
6. 環境関連法規	25
1) 法規制の遵守状況のチェック結果	
2) 違反・訴訟の有無	
7. 緊急事態の想定とその対応策	28
1) 想定される緊急事態	
2) 緊急事態の対応及び訓練状況	
8. 教育訓練計画	29
1) 環境教育・訓練の概要	
2) 主な環境教育・訓練の取り組み事例	
9. 環境目標の達成状況と環境活動計画の実施状況	31
1) 主な環境負荷の実績と達成状況	
2) 2016年度各項目毎の取組の評価と次年度以降の取組内容	
3) CO <sub>2</sub> 排出量から考える今後の当社環境活動の方向性	
10. 代表者による見直し結果	43
1) 代表者レビュー	
2) 2017年度以降の目標	

## 来ハトメ環境トピックス 目次

① . なぜ、レポートに全従業員の顔写真？～当社が考える全員の顔写真を掲載する意味とは～	12
② . 2016年11月PCB廃棄物処理完了～当社がPCB廃棄物を処理するまで～	27

## SDGsと今の世の中

SDGsの17の目標を読むと、全く素晴らしい目標が並べられていて、これがすべて実現したら、地球はユートピアになり、他の知的生物のいる惑星から狙われるのではないかと思います。

パリ協定の内容もそうですが、お題目は崇高に越したことは無く、達成できなくても、各国が達成に向けて少しずつでも努力すれば、地球全体として良い方向に向かうのだから、大きな意味はあると思います。

それにしても、どこかの大国の新米大統領がパリ協定離脱を言い出したのには、びっくりしました。選挙戦で言っていたことですが、いくら何でも実行してしまうとは大した度胸だと思います。これでもう4年後の再選は無いと思いましたが、そうでもないと知って、またびっくりしました。

わずか30%でも、狂信的な支持者がいれば、投票率50%前後であれば、再選も十分にあり得ると聞いて、選挙の恐ろしさを感じました。支持率がたったの30%であっても、コアな支持者であれば選挙に行くから、コアな支持者に受けそうな政策を実行すれば、それで再選の可能性は大きくなります。ヒトラーの時代を思い起こして、暗然とした気持ちになります。

こうなると一種の宗教みたいなものですね。我が国の状況も似たところがあります。安倍唯我教の信者と、既存宗派の信徒が一緒になって、いずれは自縄自縛になるような法律を強引に通しています。

指導者というのは、何か人のやらないことを行い、名を残すと同時に、少しでも長く、その場にいたいと思うものですね。

来ハトメ工業株式会社  
取締役会長(EA21代表者) 来 満

## 2.会社概要



来ハトメ工業株式会社

### 1) 登録事業者の概要

#### (1) 事業者及び代表者名

事業者名 : 来ハトメ工業株式会社

代表者名 : 取締役会長 来 満



写真左 : 道路側より当社社屋

写真中 : 道路側入口で独特の存在感を示す「エコアクション21認証事業者の証」

写真右 : 屋上から見た当社全景

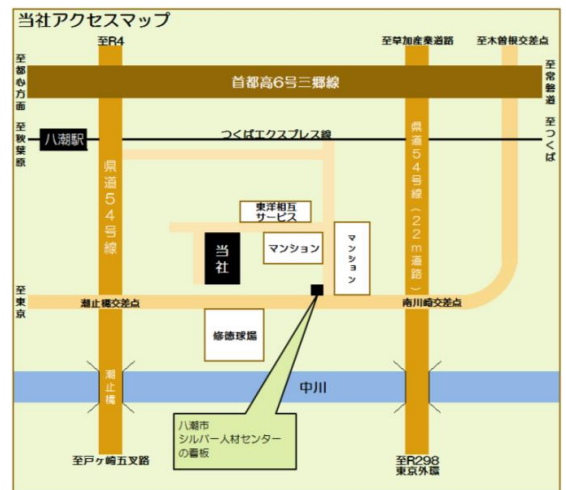
#### (2) 所在地(本社・工場共に下記住所)

〒 340-0822

埼玉県八潮市大瀬203-1

(同所に無人の駐車場、材料倉庫もあり)

URL <http://www.rai-hatome.co.jp>



#### (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者名 : 環境管理責任者 石原 隆雅

連絡先 : TEL 048(995)5138

FAX 048(996)0580

e-mail [yashio@rai-hatome.co.jp](mailto:yashio@rai-hatome.co.jp)

#### (4) 事業内容

金属材料を使用する容器、ケース、ガイドの製造

#### (5) 創業年月日

1946(昭和21)年3月6日

#### (6) 資本金

¥30,000,000



## 2.会社概要

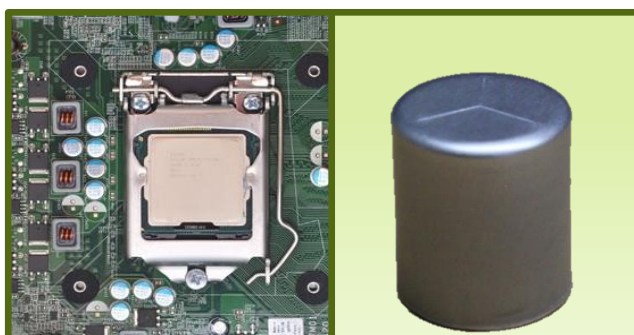
### (7) 事業規模



項目	年 度										単位
	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016		
主要製品生産高	3,102	2,425	2,677	1,902	1,669	1,626	1,663	1,776	2,030	百万個	
売上高	959	719	833	590	544	519	541	595	673	百万円	
従業員数	38	41	43	41	41	40	38	37	36	人	
事業所延床面積	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	m <sup>2</sup>	
事業所敷地面積	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	m <sup>2</sup>	

### (8) 当社主力製品並びに主要取引先

#### ● アルミ電解コンデンサ用アルミケース(売上構成比99%)



我々の豊かな暮らしを支える家電製品や自動車。これらの心臓部とも言うべき基盤部分で、実は当社の製品が活躍していることを、皆様は御存じでしょうか？

電子基板のあちこちで、独特の存在感を放つアルミ電解コンデンサの骨格部分とも言うべきアルミケースこそ、当社の主力製品！なのです。

主要御取引先：日本ケミコン株式会社様他

#### ● 建築金物(写真左)、香水プッシュボタン・ネジ(写真右)(売上構成比1%)

当社が得意とする「アルミ深絞り加工」は、アルミ材料を円筒形に加工する技術。

このアルミ深絞り加工の応用によって誕生したのが、これらの製品群。

主要御取引先： カネダ株式会社(建築金物)  
(有)都プレス工業所(香水)

上記御取引様を通じ、それぞれ、大手メーカー様へ納入しています。



## 2.会社概要

### 2) 沿革(当社71年のあゆみ)

元号	昭和
1946	3月 東京都荒川区三河島にて「來商店」創業(写真①)
1952	7月 「有限会社來商店」と改組
1952	8月 東京都足立区柳原に協力工場設置
1953	10月 東京都葛飾区奥戸本町に協力工場設置
1956	6月 東京都台東区入谷に移転
1962	12月 「有限会社來ハトメ店」と改称
1966	3月 東京都葛飾区新宿町に「金町工場」設立
1971	4月 東京都台東区入谷1-33-5に本社移転
1974	4月 來ハトメ工業株式会社と改組。資本金一千万円
1975	3月 増資。資本金二千五百万円に
1990	3月 本社機能を全て八潮工場へ移管(写真②③④)
1996	3月 増資。資本金三千五百万円に
1998	3月 鉄、真鍮から撤退。アルミ材料専用メーカーとなる
2004	1月 業界初の炭化水素洗浄設備を導入

で  
き  
し  
と



平

成

2005 2007 2010 2012 2013 2013 2014 2015 2015 2015 2015 2016 2016 2017

7月 ISO9001 2000 認証取得

3月 年間売上高十億円を達成

9月 エコアクション21 認証取得（認証・登録番号0005644）

2月 第15回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門奨励賞受賞

3月 第16回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門大賞受賞（写真⑤）

6月 『平成25年版環境白書』にて当社活動が紹介される

10月 『日経エコロジー』（日経BP社）にて当社活動事例紹介される

2月 第18回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優良賞受賞（写真⑥）

3月 第16回彩の国埼玉環境大賞優秀賞受賞（写真⑦）

8月 「環境 人づくり企業大賞2014」大賞（環境大臣賞）受賞（写真⑧）

12月 『中小企業が環境をダシに儲ける本』にて当社活動事例紹介される

2月 第19回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優秀賞受賞

5月 「環境 人づくり企業大賞2015」優秀賞受賞（写真⑨）

2月 第20回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門大賞受賞（写真⑩）





## 3) 設備概要並びに従業員紹介

### (1) 世界のモノづくりを支え続けるヒーロー達 ～製造ライン～

それぞれ違う個性を持つ143台のプレス。その一台一台を熟知し、1日あたり1,000万個ものコンデンサ用アルミケースを生産するという離れ業を演じるのが、5名のアルミケース製造ライン担当者。

彼らの日々の頑張りが、日本の、そして世界の電気、自動車産業を支えている！と言うのはちょっと大げさかもしれませんが、そんな熱い思いで日夜頑張っている彼らの作業中の1コマをご覧ください。

#### i) 配置図と各設備の名称

色記号	設備名称(メーカー・型番)
	5号プレス(127台)
	4号プレス(16台)
	エアークリーナー(岩崎エアテック・AT7000)
	溶接機(東洋変圧器・TK-150)
	切断機(マキタ・2412N)
	卓上電動研磨機(富士電機・BG-1)
	油圧式金切鋸盤(村橋製作所製)
	汎用旋盤(滝沢製作所・TSL-550D)
	スクラップ用コンベア
	給水系統
	排水系統

#### ii) アルミケース製造ライン従業員紹介

① 加茂 隆弘	① 加藤 直	① 田辺 栄一
② 11年目	② 11年目	② 11年目
③ -	③ -	③ -
④ 廃棄物(事業系一般廃棄物)	④ 廃棄物(廃アルミ)	④ CO <sub>2</sub> (電力)
① セノ リト アンジェロ	① 越川 達也	
② 5年目	② 3年目	
③ -	③ -	
④ 廃棄物(産廃(廃ウエス))	④ 法規制(空調機点検)	
		① 氏名
		② 勤続年数
		③ 社内役職
		④ EA21担当項目



## 2.会社概要



来ハトメ工業株式会社

### (2) 確かな技術が可能にする、驚異の対応力～工作室(金型製造・修理)～

当社の強みである「驚異の対応力」の源は、金型からの製品一貫生産にあります。特に、主力のアルミ電解コンデンサ用ケースについては、急なサイズ変更や突然の金型トラブルによる不良発生にも即座に対応できる技術力を有し、お客様の生産計画を強力にバックアップできる体制が構築されています。

こうした離れ業を演じるのが、様々な技術を有する6名の技術者達。どんな難題さえものともしない卓越した技術を携えたスペシャリスト達が、お客様を強力にバックアップします。

#### i) 配置図と各設備の名称

色記号	設備名称(メーカー・型番)
	平面研削盤(日興機械・NFG-515)
	5号プレス(8台)
	卓上ボール盤(遠州工業、日立工機)
	コンターマシン(日本工機・L-300)
	電気ドリル(日立工機・DG-5)
	卓上自動面取器(日本オートマチックマシン製)
	卓上グラインダー(日立工機・GT-13)
	セイパー(長岡工機・NS-580)
	フライス盤(牧野フライス・KSJ型)
	フライス盤(静岡鐵工所・VHR-A型)
	遠心脱油機(広瀬脱水機・AR-66型)
	アルミスクラップ集積所
	スクラップ運搬用コンベア

#### ii) 工作室(金型製造・修理)従業員紹介

① 来 昌伸	① 有山 浩一郎	① 井出 学
② 39年目	② 33年目	② 20年目
③ 代表取締役社長	③ 取締役工場長	③ 製造課長
④ 地域貢献他	④ 廃棄物(紙くず)	④ 廃アルミ(材料歩留まり)
① 山崎 洋幸	① 宮本 哲次	① 来 尊重
② 20年目	② 11年目	② 8年目
③ 主任	③ ー	③ 主任
④ CO <sub>2</sub> (LPG)	④ 水、有害化学物質	④ CO <sub>2</sub> (ガソリン)他

## 2.会社概要

### (3) 「完璧な洗浄」への飽くなき挑戦 ～洗浄室～

「洗浄」。言葉通りの解釈をすれば「製品をきれいにする事」に他なりません。この「洗浄」、実はとても、奥が深い世界なのです。

お客様によって、洗浄状態への御要望は、実に多彩。当社では、お客様へ最高の満足をお届けするため、たくさんの失敗と成功を繰り返しながら、今日まで様々な洗浄ノウハウを蓄積してきました。

こうした奥深い世界で日々格闘しているのが、2名の洗浄スペシャリスト達。彼らによる「完璧な洗浄」実現のための飽くなき挑戦は、今この瞬間も、続いています。

#### i) 配置図と各設備の名称

色記号	設備名称(メーカー・型番)
	洗浄機 (クリーンビーFVH3-4085V2RCVS) 写真①
	※遠心脱油機(広瀬脱水機) 写真②
	チラーユニット 写真③
	チラーユニット 写真④



※赤囲みの遠心脱油機は、2016年度増設したものを表します。

#### ii) 洗浄室従業員紹介

① 来 淳一郎	① 斉藤 進	① 氏名
② 19年目	② 12年目	② 勤続年数
③ 営業課長	③ -	③ 社内役職
④ EA21製造部門責任者、化学物質他	④ 化学物質(炭化水素)	④ EA21担当項目



## (4) いつもお客様のすぐそばで、顧客満足を全力で追求する～2F管理部～

当社の管理部門は、品質管理、出荷、営業、クレーム処理、更にはISO9001やEA21の事務局に至るまでの実に広範囲の業務をカバーするのが最大の特徴。

また、業務の特性上、お客様をはじめ、当社に御縁ある方々のすぐそばで仕事をさせて頂く機会が最も多い部署でもあります。

こうした責任を日々痛感しながら、各自の専門分野に日々磨きをかけつつ、どんなに小さなお客様の声も社内に反映させるという強い意志を持ち、お客様の満足を全力で追求し続けるプロ集団。そんな管理部従業員の仕事をしかとご覧下さい。

### 管理部門従業員紹介

		
① 来 満	① 佐々木 勝	① 石原 隆雅
② 47年目	② 24年目	② 12年目
③ 取締役会長	③ 管理課長	③ 主任
④ EA21代表者、継続的改善	④ EA21管理部門責任者、緊急事態(避難訓練)	④ EA21環境管理責任者、法規制他
		
① 来 博行	① 福田 則子	① 大西 百合子
② 5年目	② 26年目	② 11年目
③ -	③ 主任	③ 主任
④ eco検定講座	④ グリーン調達	④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)
		
① 岡本 恵子	① 山田 亜由美	① 安田 ショセフィーナ
② 18年目	② 18年目	② 18年目
③ -	③ -	③ -
④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)	④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)	④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)

# 2.会社概要



来ハトメ工業株式会社


		
① 三輪 千鶴	① 稲葉 エリザベス	① 竹田 アデライダ
② 15年目	② 14年目	② 13年目
③ -	③ -	③ -
④ CO <sub>2</sub> (灯油)、廃棄物(分別)	④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)	④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)
		
① 山本 マリア	① 大小堀 レオニラ	① 田中 ジェバチキ
② 13年目	② 13年目	② 11年目
③ -	③ 主任	③ -
④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)	④ 備品コスト意識改善他	④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)
		
① メンドーサ カリーナ アンジェリカ セ	① 坂本 ルシール	① 奥山 レアグレース
② 11年目	② 10年目	② 10年目
③ -	③ -	③ -
④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)	④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)	④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)
		
① 大塚 アデリーナ	① 深井 美樹	① 遠藤 フレンシシタ
② 10年目	② 8年目	② 7年目
③ -	③ -	③ -
④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)	④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)	④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)

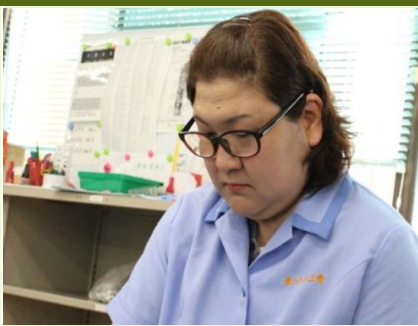



## 2.会社概要



来ハトメ工業株式会社







写真

① 越川 順子	① 梅藤 美智子	① 氏名
② 7年目	② 6年目	② 勤続年数
③ -	③ -	③ 社内役職
④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)	④ CO <sub>2</sub> (電力)、廃棄物(分別)	④ EA21担当項目

### 来ハトメ環境トピックス

#### ① なぜ、レポートに全従業員の顔写真？ ～当社が考える全員の顔写真を掲載する意味とは

今や、当社レポートの名物ページの一つ(?)となった、従業員紹介のコーナー。

レポートをお渡しした際、お客様、審査人の先生、家族……どなたも共通してここ(だけ)は、食い入るように見て下さります。

しかし、悲しいかなその一方で、「環境活動レポートなのに、なぜ？」という疑問の声を頂くこともしばしば、だったりもします。

そこで、今回は、当社がレポートに全従業員の写真を掲載する真意について、お伝えします。



従業員紹介ページ(当社環境活動レポート2012年版)

この年のレポートから、従業員顔写真の掲載を開始。因みにこの年のレポートで、当社は大賞(環境大臣賞)を受賞しました。

#### 何と言っても、主役の顔を見てほしい！

当社では、環境活動の項目を可能な限り細かく分割し、その一つ一つについて担当者を割り当てています。ある項目の担当になった社員は、通常の運用は当然として、年初の施策の立案、更には担当項目の教育訓練の講師役といった具合に非常に多くの役割が与えられます。

それだけ大変な役割を演じ、なおかつ結果も出している従業員が多い中で、頑張っている人の顔が見えないなんてあまりに可哀想！だと思いませんか。

活動の内容だけでなく、主体となってそれに取り組む従業員の顔もぜひ見て頂きたい！顔写真の掲載には、実は、こうした強い思いが込められているのです。

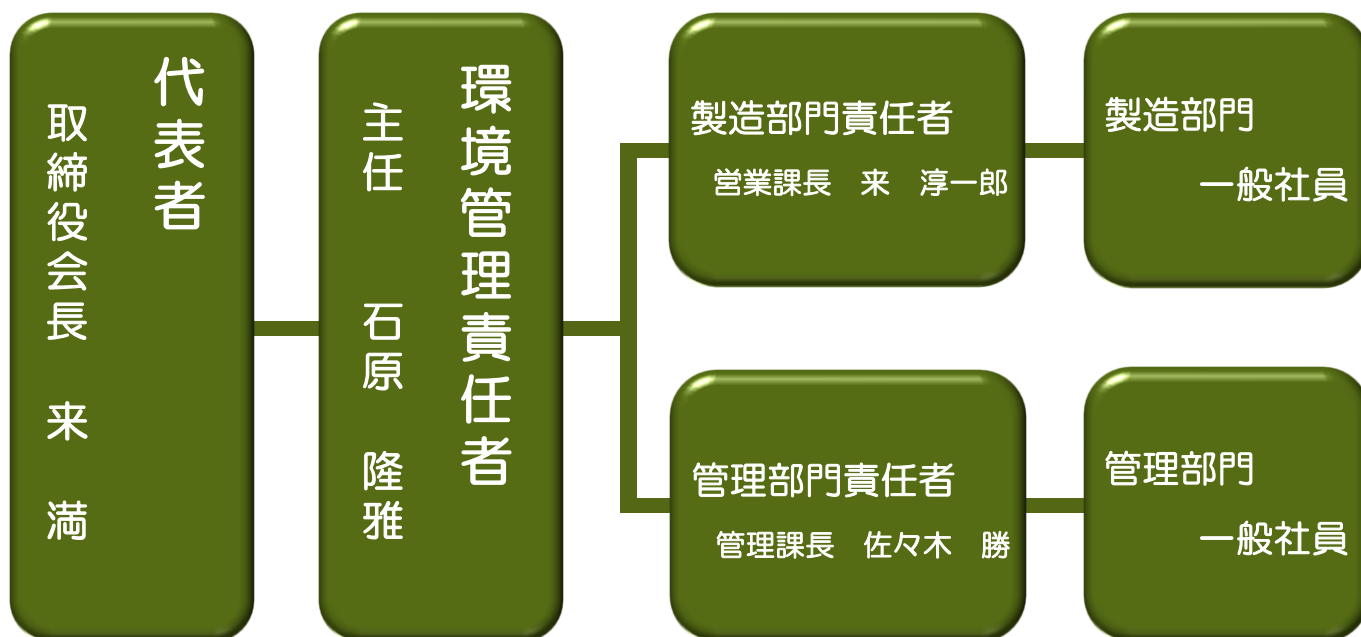
#### 働いているときの顔って、やっぱりいちばんかっこいい！

この部分は、少し内向きにはなりますが、完成したレポートを、是非従業員の家族の皆様に見て頂きたいと思っています。

このレポートが家族の話題の中心となったとき、仕事に見せるカッコいい父親(母親)の姿がそこにあったら……。家族の皆様、とても嬉しいのではないのでしょうか。

従業員の家族の方がレポートを手にし、普段家庭は見られない素敵なお父さん(お母さん)の顔に触れ、みんなの家庭内での株がちょっぴり上がってくれば……。というひそかな思いも、実はこのページの中には込められているのです。

## 1) EA21環境経営組織図



## 2) 役割責任及び権限

役割(職位)	責任 及び 権限
代表者	1. 環境方針の制定、誓約及び従業員への周知 2. 環境管理責任者の任命 3. 環境経営資源の確保 4. 是正・予防処置発生時のフォロー、並びに指示 5. 全体の取組状況の評価と見直し、並びに指示
環境管理責任者	1. エコアクション21活動全般の施策・運用 2. エコアクション21の実施記録を経営者に報告 3. 各種環境関連文書の記録の管理 4. 環境関連法規の遵守に関する教育 5. 環境活動レポートの作成、公表
製造(管理)部門責任者	1. 環境目標に即した自部門の環境活動計画の策定・実施 2. 自部門に適用される法的要求事項の遵守 3. 自部門の一般社員に対する環境教育の実施
(各部門)一般社員	1. 各担当項目の施策策定及び施策の実施 2. 各担当項目の実施状況を環境管理責任者に報告 3. 担当項目以外の環境保全活動への協力 4. 環境関連法規に関する知識習得及びその遵守 5. 活動を通じての部門責任者、環境管理責任者への提案 6. 各家庭における環境教育の実施

## 3) 2016年度の変更点

2016年度は、環境経営組織図、役割責任及び権限に対する変更はありません。

当社は金属製品製造業の事業を通じて環境保全を配慮して行動することを経営の重要課題の一つとしてとらえて、次の行動指針を定めます。

- 1 . 事業活動に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるために、次の取組を行います。
  - ① 製造工程、管理工程における二酸化炭素排出量の削減
  - ② 分別排出、使い切り等による廃棄物排出量の削減
  - ③ 水使用量の削減
  - ④ 製造工程における材料歩留まりの向上
  - ⑤ グリーン調達の推進
  - ⑥ 有害化学物質の取扱い禁止並びに化学物質使用量の削減
- 2 . エコアクション21の取組により環境への取組の継続的な改善を図ります。
- 3 . 事業活動に適用される環境法規制を遵守します。
- 4 . 環境教育・訓練の実施により、全ての社員に環境方針を周知徹底すると同時に、環境保全に関する知識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。
- 5 . 生物多様性に関する社員教育を実施するとともに、その保全と持続可能な利用のための取組を推進します。
- 6 . ボランティア活動等を通じて、地域貢献に取り組みます。
- 7 . 5Sを徹底し、社内美化に努めると同時に、事業活動内に潜むムダの「見える化」とその排除に努めます。
- 8 . 環境方針等、必要な情報を開示します。

2014年3月3日改訂  
来ハトメ工業株式会社

取締役会長(EA21代表者)

来 浩 

# 5.環境目標と環境活動計画



来ハトメ工業株式会社

## 1) 過去5年間の環境負荷の実績と中期環境目標

### (1) 過去5年間の環境負荷の実績

項目(単位)		2011	2012	2013	2014	2015
CO <sub>2</sub> 排出量	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )※1	340,345	329,319	326,337	270,342	251,277
	電力(kWh)	393,776	376,618	374,437	523,004	562,463
	重油(ℓ)※2	58,400	57,700	55,700	12,500	—
	LPG(kg)	577	619	528	465	474
	ガソリン(ℓ)	3,152	3,084	3,305	3,250	3,285.00
	灯油(ℓ)	1,010	1,221	1,773	1,482	1,227
廃棄物	事業系一般廃棄物(kg)	3,605	2,705	1,700	1,795	1,860
	産廃(廃ウエス)(kg)※3	—	—	1,200	1,800	1,400
	紙くず(リサイクル量)(kg)	2,120	1,910	1,540	1,930	1,660
	廃アルミ(有価物)(kg)	224,850	205,390	215,130	218,161	241,234
水	上水(m)	1,257	1,140	1,061	571	405
化学物質	炭化水素(ℓ)※4	84,350	59,250	38,400	24,000	12,600
	潤滑油(ℓ)※5	21,500	24,000	26,000	22,000	22,000
グリーン調達率(%)		65.0	71.1	75.2	80.4	80.5

※1 二酸化炭素排出量は、平成20年度東京電力㈱の実排出係数(0.418kg-CO<sub>2</sub>)を基に算出したものです。

※2 当社における重油使用は2014年8月をもって終了しました。

※3 産廃(廃ウエス)は2012年度よりデータ取りを開始したため、それ以前のデータはありません。

※4 炭化水素の物品名は「ソルトーフP-1」(第2石油類 非水溶性)になります。

※5 潤滑油の物品名は「ラタックコンパウンド」(第4石油類)になります。

項目毎の基準年度は、(2)中期環境目標の各項目欄を御参照下さい。

### (2) 中期環境目標(基準年度、削減目標量は2016年度年初の目標値)

■ CO <sub>2</sub> 排出量(目標値：総量(kg-CO <sub>2</sub> ))			
基準年度		2013年度	
基準年度実績		326,337kg-CO <sub>2</sub>	
削減目標量	年度	目標値(kg-CO <sub>2</sub> )	基準年度比
	2016	245,497	24.7%削減
	2017	239,616	26.5%削減
	2018	233,736	28.3%削減
	2019	227,855	30.2%削減
	2020	221,975	32.0%削減
	2030	163,169	50.0%削減

※国の約束草案： 2030年までにCO<sub>2</sub>排出量を2013年比26%削減。

中期環境目標達成に向けて  
(環境管理責任者)  
2015年度のCO<sub>2</sub>排出量の実績値(251,277kg-CO<sub>2</sub>)をスタートラインとし、それをCOP21の目標年(2030年)までに半減させるという目標を掲げ、取り組むことにしました。国の約束草案※と比較してもかなりチャレンジングな目標となりますが、全員の努力に加え、知恵やイノベーションをフル活用することで、必ずや大きな目標にたどり着けるよう、努力し続けます。

■ 電力使用量(目標値：洗浄袋数(調整)原単位(kWh/袋))			
基準年度		2015年度	
基準年度実績		21.05kWh/袋	
削減目標量	年度	目標値(kWh/袋)	基準年度比
	2016	20.84	1%削減
	2017	20.63	2%削減
	2018	20.42	3%削減
	2019	20.21	4%削減
	2020	20.00	5%削減

中期環境目標達成に向けて  
(環境管理責任者)  
現在、当社のエネルギー使用量の約97%を占める部分になります。節電意識が大いに浸透した上で設定された目標値ですので、達成には相当の困難が伴うことが予想されますが、各自の行動に加え、機器更新等も取り入れながら活動に取り組んでいきます。

電力使用量原単位算出式：※基準年度の洗浄袋数を基に調整した電力使用量(kWh)÷洗浄袋数(袋)

※洗浄袋数については16頁、具体的な調整方法については、19頁をご覧ください。



# 5.環境目標と環境活動計画



## ■ LPG使用量(目標値：稼働日原単位(kg/日))

基準年度		2010年度	
基準年度実績		3.01kg/日	
削減目標量	年度	目標値(kg/日)	基準年度比
	2016	2.83	6%削減
	2017	2.80	7%削減
	2018	2.77	8%削減
	2019	2.74	9%削減
	2020	2.71	10%削減

中期環境目標達成に向けて  
(環境管理責任者)  
エネルギー使用量の約1%弱を占めるのが、このLPG。フォークリフト燃料、金型焼入れバーナー、湯沸器の3つの用途毎の分析を行い、対策のための行動を取ることが、目標達成のカギと言えますので、細かな分析を常に実施し、確実に目標達成できるよう、取組を推進します。

LPG使用量原単位算出式：使用量(kg)÷当月の稼働日数(日)

## ■ ガソリン使用量(目標値：総量(ℓ))

基準年度		2010年度	
基準年度実績		3,447ℓ	
削減目標量	年度	目標値(ℓ)	基準年度比
	2016	3,240	6%削減
	2017	3,205	7%削減
	2018	3,171	8%削減
	2019	3,137	9%削減
	2020	3,102	10%削減

中期環境目標達成に向けて  
(環境管理責任者)  
近年、社用車の老朽化の影響で、エコドライブを実践しても、その効果が見えにくくなっています。2016年度は、社用車の入替予定があるようなので、入替時の車種選定と、入替後の削減効果には大いに期待したいところです。

## ■ 灯油使用量(目標値：稼働日原単位(ℓ/日))

基準年度		2010年度	
基準年度実績		6.18ℓ/日	
削減目標量	年度	目標値(ℓ/日)	基準年度比
	2016	5.81	6%削減
	2017	5.75	7%削減
	2018	5.69	8%削減
	2019	5.62	9%削減
	2020	5.56	10%削減

中期環境目標達成に向けて  
(環境管理責任者)  
毎年、色々な対策がなされているものの、使用量を左右するのは、冬期の温度状況によるところが大きいようです。とは言え、やはり、人の行動が成果に直結するのが環境活動。毎年提案される様々な知恵と、それを実行しやすい環境づくりに日頃から尽力することが必要です。

灯油使用量原単位算出式：使用量(ℓ)÷当月の稼働日数(日)

## 解説

### 「洗浄袋数」とは？

当社では、電力使用量、廃アルミ排出量、炭化水素使用量、潤滑油使用量の4項目において、「洗浄袋数」原単位を目標に掲げています。

当社の工程は、製造工程→洗浄工程→検査・出荷工程の3つの工程に分けられます。それぞれの工程から製品を次工程に引き渡す際、原則1袋で1ロットになるようにやり取りしています(右写真の1袋が1ロットとなります)。



製品を洗浄する際も、この袋単位で作業が行われることから、当社では、「洗浄袋数〇〇袋」というように、ロット数を洗浄袋数と呼称することが慣習化しています。

従いまして、「洗浄袋数」という用語は、「製造ロット数」と同じことと言えます。

# 5.環境目標と環境活動計画



## ■ 事業系一般廃棄物排出量(目標値：総量(kg))

基準年度		2014年度	
基準年度実績		1,795kg	
削減目標量	年度	目標値(kg)	基準年度比
	2016	1,777	1%削減
	2017	1,759	2%削減
	2018	1,741	3%削減
	2019	1,723	4%削減
	2020	1,705	5%削減

中期環境目標達成に向けて  
(環境管理責任者)  
2015年度目標未達。その反省を受け、2016年度には、ごみ箱の分別表示の一層の強化を実施。また、教育訓練の一環として、廃棄物に関する啓発教育も開始しました。すぐに結果が出るかはさておき、改善に繋がりそうな策を講じ続けるというスタンスにて、目標達成を目指し、取組を進めて参ります。

## ■ 産業廃棄物(廃ウエス)排出量(目標値：総量(kg))

基準年度		2013年度	
基準年度実績		1,800kg	
削減目標量	年度	目標値(kg)	基準年度比
	2016	1,746	3%削減
	2017	1,728	4%削減
	2018	1,710	5%削減
	2019	1,692	6%削減
	2020	1,674	7%削減

中期環境目標達成に向けて  
(環境管理責任者)  
2015年7月、担当者の立案にて「見える化」掲示板を設置以来、目に見える改善を見せた項目。この良い流れを維持し続けるための策を常に考え、実践していきながら中期環境目標をクリアし続けられればと思います。

## ■ (有価物)紙くずリサイクル量(目標値：リサイクル率(%))

基準年度		2010年度	
基準年度実績		25.64%	
削減目標量	年度	目標値(%)	基準年度比
	2016	31.64	6%削減
	2017	32.64	7%削減
	2018	33.64	8%削減
	2019	34.64	9%削減
	2020	35.64	10%削減

中期環境目標達成に向けて  
(環境管理責任者)  
全社的な紙くずリサイクル意識は非常に高く、コピー用紙がゴミとして捨てられるという事態は、皆無に等しい状況です。しかし、判断が難しいものについては、そのままゴミ箱に捨てられてしまう、という事象に遭遇することは、しばしばあるのが現状です。更なるリサイクル率向上のためには、こうした判断が難しいものの判別法について伝える必要がありそうです。

リサイクル率算出式：紙くず(kg)÷(事業系一般廃棄物(kg)+産廃(kg)+紙くず(kg))×100

## ■ (有価物)廃アルミ排出量(目標値：洗浄袋数(調整)原単位(kg/袋))

基準年度		2010年度	
基準年度実績		9.71kg/袋	
削減目標量	年度	目標値(kg/袋)	基準年度比
	2016	9.12	6%削減
	2017	9.03	7%削減
	2018	8.93	8%削減
	2019	8.84	9%削減
	2020	8.74	10%削減

中期環境目標達成に向けて  
(環境管理責任者)  
廃アルミとして排出されるのは、大きく分けて、プレス機の抜きカスと、不良品の2つになります。昨今、品質要求が厳格化しており、それに伴い不良品も増加するという悪循環に陥っていますが、製造技術の一層の向上を図り、その流れを断ち切ることが急務です。

廃アルミ排出量原単位算出式：※基準年度の洗浄袋数を基に調整した排出量(kg)÷洗浄袋数(袋)  
※洗浄袋数については16頁、具体的な調整方法については、19頁をご覧ください。

# 5.環境目標と環境活動計画



## ■ 水使用量(目標値：総量(m<sup>3</sup>))

基準年度		2015年度	
基準年度実績		405m <sup>3</sup>	
削減目標量	年度	目標値(m <sup>3</sup> )	基準年度比
	2016	401	1%削減
	2017	397	2%削減
	2018	393	3%削減
	2019	389	4%削減
	2020	385	5%削減

### 中期環境目標達成に向けて (環境管理責任者)

全従業員に節水意識が浸透したこと、それに導いた担当者の地道な努力が奏功し、これまで順調に削減が達成されてきました。今後も基本線については変更なく、ポスターによる啓発と、水使用量削減のための教育を2本柱として、更なる削減に向け、取り組んでいきます。

- 水使用量につきましては、2016年度の活動において、是正処置が多発したことから、様々な方向から見直しを実施しました。その結果、現在の総量という目標設定方法に無理があるという結論に達し、2017年度以降については、評価方法として稼働時間原単位(使用量(m<sup>3</sup>)÷月当たり稼働時間(h))を採用することに決定しました。
- 本年度環境活動レポートにおいては、年初に決定した「総量ベースの目標値」をそのまま採用した形で運用・評価した内容にて終始掲載することとします。

## ■ 化学物質(炭化水素)使用量(目標値：洗浄袋数原単位(ℓ/袋))

基準年度		2015年度	
基準年度実績		0.47ℓ/袋	
削減目標量	年度	目標値(ℓ/袋)	基準年度比
	2016	0.47	1%削減
	2017	0.46	2%削減
	2018	0.46	3%削減
	2019	0.45	4%削減
	2020	0.45	5%削減

### 中期環境目標達成に向けて (環境管理責任者)

炭化水素をプレス加工後の製品の脱脂洗浄剤として使用しています。昨今、電子部品市場の活況に支えられ、当社の生産数も増加していることから、炭化水素使用量も相応の増加が見込まれます。生産増以外の増加(人的ミスによる無駄遣いなど)には十分に目を光らせ、中期環境目標達成を目指して行動します。

炭化水素使用量原単位算出式：使用量(ℓ)÷洗浄袋数(袋)

## ■ 化学物質(潤滑油)使用量(目標値：洗浄袋数原単位(ℓ/袋))

基準年度		2010年度	
基準年度実績		0.93ℓ/袋	
削減目標量	年度	目標値(ℓ/袋)	基準年度比
	2016	0.87	6%削減
	2017	0.86	7%削減
	2018	0.86	8%削減
	2019	0.85	9%削減
	2020	0.84	10%削減

### 中期環境目標達成に向けて (環境管理責任者)

潤滑油に関して最も注意すべきは、ポンプの管理不徹底によりオイルをあふれさせてしまうといった人的ミス。あふれたオイルが無駄になってしまうだけでなく、一歩間違えばの流出事故等の重大事故にもつながりかねません。現在の潤滑油循環の構造を見ると、オイル漏れが発生しかねない構造になっており、その改善は急務。中期環境目標達成のためだけでなく、事故防止のためにも、全現場作業員と共に知恵を絞り、早期に改善します。

炭化水素使用量原単位算出式：※基準年度の洗浄袋数を基に調整した使用量(ℓ)÷洗浄袋数(袋)  
※洗浄袋数については16頁、具体的な調整方法については、19頁をご覧ください。



# 5.環境目標と環境活動計画



## ■ グリーン調達(目標値：グリーン調達率(%))

基準年度		2010年度
基準年度実績		57.12%
削減目標量	年度	目標値(%)
	2016	81%以上
	2017	82%以上
	2018	83%以上
	2019	84%以上
	2020	85%以上

### 中期環境目標達成に向けて (環境管理責任者)

2015年度目標(グリーン調達率81%以上)に対して実績80.52%と未達に終わったことから、2016年度は目標値を据置き致しました。  
2014年度から停滞気味の状況に陥っており、今後大きく伸ばすことは困難を極めそうですが、担当者をはじめ従業員自身の気付きや他社様の活動事例を参考にしながら、困難な目標に果敢にチャレンジします。

グリーン調達率算出式：グリーン調達対象品購入金額(円)÷全購入品金額(円)×100

## 解説

### 「洗浄袋数(調整)原単位」とは

洗浄袋数(製造ロット数、16頁参照)を原単位として用いることは、一見、大変理に適っているように思われますが、活動を進めていく内、この方法にはある欠点があることが明らかになってきました。

当社の製品は、ロットごとに入数がまちまちであるため、入数の平均が基準年のそれと大きく異なってしまう場合、正確な比較をすることができないということが分かってきました。

その欠点を改善すべく、1ロットあたりの製品入数を基準年と合わせるための調整をすることで、比較の精度を向上させるといった手法を、当社代表者が考案しました。

この調整は、以下の手順にて行い、こうして算出した原単位を、「洗浄袋数(調整)原単位」と呼称し、2012年度より、電力、潤滑油、廃アルミの3項目にて運用を開始し、現在に至っています。

### 洗浄袋数(調整)原単位算出手順

例：潤滑油にて

当月(1ヶ月)使用量2,000ℓ,洗浄袋数2,549袋,製造数16,851万個

基準年(年間)使用量28,108ℓ,洗浄袋数30,351袋,製造数267,700万個 の場合

i) 当月洗浄ロット数÷当月製造数＝製品1個当たり袋数(袋/個)を計算する。

$$2,549袋 \div 16,851万個 \div 0.00001513(袋/個) - \textcircled{1}$$

ii) 調整(1)の値を計算する(計算式は、下記の通り)。

$$\text{調整(1)} = \textcircled{1} \div (\text{基準年洗浄袋数} \div \text{基準年製造数})$$

$$0.00001513 \div (30,351袋 \div 267,700万個) \div 1.33 - \textcircled{2}$$

②により、当月の潤滑油使用量は基準年と比較して製品1個当たり1.33倍使用量が増加したことが分かる。

iii) 調整(2)の値を計算する(計算式は、下記の通り)。

$$\text{調整(2)} = \{1 - (\textcircled{2} - 1)\} \times \text{当月使用量}$$

$$\{1 - (1.33 - 1)\} \times 2,000\ell = 1,340\ell - \textcircled{3}$$

iii) 調整後原単位を計算する(計算式は、下記の通り)。

$$\text{調整後原単位} = \textcircled{3} \div \text{当月洗浄袋数(製造ロット数)}$$

$$1,340\ell \div 2,549袋 \div 0.53\ell/袋$$

$$(\text{基準年原単位は} 28,108\ell \div 30,351袋 \div 0.93\ell/袋)$$



# 5.環境目標と環境活動計画



来ハトメ工業株式会社

## 2) 2016年度環境活動計画

### (1) 二酸化炭素排出量削減に関するもの

二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> ) 過去3年間の実績	2013年度 326,337	2014年度 270,492	2015年度 251,277
<b>項目</b>	<b>取組内容</b>		<b>実施責任者</b>
電力使用量の削減  2016年度目標値 洗浄袋数(調整)原単位 20.84kWh/袋 デマンド 275kW	毎月の電力使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。		田辺 栄一
	電力使用量に繋がる教育を実施する。		田辺 栄一
	新型エアコン等、電力使用削減に貢献可能な機器の調査及び導入に向けての提案を行う。		田辺 栄一
	夏期、スマートメーターのデマンド警告設定値を275kWとし、警告表示時にはデマンドオーバー防止のための行動を実施する。		田辺 栄一
	デマンド設定値逸脱防止のため、ピークシフト生産、前倒し生産等の施策を検討、実行し、その指揮及び調整を行う。		来 満
	製造現場(田辺)、洗浄場(齊藤)、2Fフロア(来(博))の温・湿度を毎日記録する。		田辺 栄一 齊藤 進 来 博行
灯油使用量の削減  2016年度目標値 稼働日原単位 5.81ℓ/日	毎月の灯油使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。		三輪 千鶴
	暖房機稼働中は重ね着(ウォームビズ)を実施する。		全社員
	暖房機の温度調整機能を活用し、「中」以下での運転を励行する。		三輪 千鶴
LPG使用量の削減  2016年度目標値 稼働日原単位 2.83kg/日	毎月のLPG使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。		山崎 洋幸
	フォークリフトのエコドライブに関する啓発教育を実施する。		来 淳一郎 加茂 隆弘
	手洗い時瞬間湯沸器使用禁止期間を設定し、事前啓発と事後の効果の検証をそれぞれ行う。		山崎 洋幸
	冬期の瞬間湯沸器のガス、水量の設定を行い、事前遵守啓発と、事後の効果検証をそれぞれ行う。		山崎 洋幸
ガソリン使用量の削減  2016年度目標値 総量 3,240ℓ/年	毎月のガソリン使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。		来 尊重
	効果的なエコドライブ方法に関する啓発教育を行う。		来 尊重
	実車によるエコドライブ乗車体験実習を行う。		来 尊重

### 2016年度環境活動計画のポイント(二酸化炭素排出量削減編)

二酸化炭素排出量削減に関する環境活動計画については、前年度各分野において総じて好調を維持したことから、昨年度の活動をそのまま踏襲・深化させることを主眼に置き、あまり大きな変更は行っていません。

電力については、例年通り原単位以外にピークデマンドの目標値も設定しました。これはデマンドを意識することで、結果的に全体の節電に繋がるという考えに基づくものです。

# 5.環境目標と環境活動計画



来ハトメ工業株式会社

## (2) 廃棄物排出量削減、材料歩留まりの向上に関するもの

廃棄物排出量過去3年間の実績		2013年度	2014年度	2015年度
事業系一般廃棄物(kg)		1,700	1,795	1,860
産業廃棄物(廃ウエス)(kg)		1,800	1,800	1,400
紙くずリサイクル率(%)		30.56	34.93	33.73
廃アルミ(有価物)(kg)		215,130	218,161	241,234
項目	取組内容	実施責任者		
事業系 一般廃棄物 排出量の削減  2016年度目標値 総量 1,777kg/年	毎月の事業系一般廃棄物排出量を記録し、各月毎の見直しを行う。	加茂 隆弘		
	工程内検査にて使用するウエスについて、洗浄リサイクルの運用とその指揮を行う。	加茂 隆弘		
	分別明確化のため、ゴミ箱周辺に廃棄場所、廃棄方法等の標識を設置する。	加茂 隆弘		
	廃棄物排出削減に繋がる教育を実施する。	加茂 隆弘		
産業廃棄物 (廃ウエス) 排出量の削減  2016年度目標値 総量 1,746kg/年	毎月の産業廃棄物(廃ウエス)排出量を記録し、各月毎の見直しを行う。	セノ リト アンジェロ		
	「見える化ボード」の内容を定期更新し、排出量削減啓発を行う。	セノ リト アンジェロ		
	毎日廃ウエスと事業系一般廃棄物の分別が徹底されているかを確認し、不備がある場合は分別作業を随時行う。	セノ リト アンジェロ		
紙くず リサイクル率の 向上 2016年度目標値 リサイクル率 32.64%	毎月の紙くずリサイクル量を記録し、各月毎の見直しを行う。	有山 浩一郎		
	紙くず集積方法、運搬方法の見直しを行う。	有山 浩一郎		
	紙と事業系一般廃棄物の分別が正しくできているか、毎日確認する。	パート社員		
廃アルミ 排出量の削減 2016年度目標値 洗浄袋(調整)原単位 9.12kg/袋	毎月の廃アルミ排出量を記録し、各月毎の見直しを行う。	加藤 直		
	材料台のグリースを2ヶ月毎に交換する。	加藤 直		
材料歩留まり の向上	オイルボックスの定期清掃を実施する。	井出 学 加藤 直		
	缶開けルール徹底の為の啓発活動を行い、その効果を検証し、必要があれば指導を行う。	加藤 直		
	正しい材料つなぎ方法について朝礼時に講習を行う。	井出 学		
	材料つなぎ教育の効果について、テスト形式で検証を行い、問題があれば指導を行う。	井出 学		
	ライン別、担当者別の不良率の「見える化」を実施する。	井出 学		

### 2016年度環境活動計画のポイント(廃棄物排出量削減編)

- ごみ処分時の分別を確実にするためゴミ箱に識別表示(事業系一般廃棄物)。
- 紙くず運搬方法の見直し(トラック→カゴ台車)(紙くず(リサイクル))。
- ライン別、担当者別の不良率の「見える化」(材料歩留まり)といった取組を新たに実施しました。

## 5.環境目標と環境活動計画



来ハトメ工業株式会社

### (3) 水使用量削減に関するもの

水使用量 (m <sup>3</sup> ) 過去3年間の実績	2013年度 1,061	2014年度 571	2015年度 405
項目	取組内容		実施責任者
水使用量の削減 2016年度目標値 総量 401m <sup>3</sup> /年	毎月の水使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。		宮本 哲次
	節水のための啓発教育を実施する。		宮本 哲次
	雨水タンクの水を補助手洗い用に使用する。		宮本 哲次
	漏水、無駄遣い等の監視及び注意喚起のため、毎週水曜日に水道メーターを確認し、速報値を掲示する。		宮本 哲次
	節水ポスターを実情に即したものに更新、掲示する。		宮本 哲次

### 2016年度環境活動計画のポイント(水使用量削減編)

昨年度の取組が非常に順調に推移したことから、環境活動計画の変更は加えず、ほぼ前年同様の活動を実施することにしました。

### (4) 化学物質使用量削減に関するもの

過去3年間の実績	2013年度	2014年度	2015年度
炭化水素(洗浄袋数原単位)	1.69	0.99	0.47
潤滑油(洗浄袋数(調整)原単位)	0.87	0.65	0.55
項目	取組内容		実施責任者
炭化水素 使用量の削減 2016年度目標値 洗浄袋数原単位 0.47ℓ/袋	毎月の炭化水素使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。		斉藤 進
	洗浄機の始業点検及び定期メンテナンスを行う。		来 淳一郎 来 博行
潤滑油 使用量の削減 2016年度目標値 洗浄袋数原単位 0.87ℓ/袋	毎月のラタックコンパウンド使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。		来 淳一郎
	オイル集積路の見直しを実施する。		来 淳一郎
有害化学物質 取扱いの禁止	社内にて使用する化学物質のSDS最新版を年1回入手し、それを管理する。		石原 隆雅
	社内にて使用する化学物質が法令類に非該当であるかを調査する。		石原 隆雅
	社内使用化学物質の性状、有害性及び事故時の対応に関する教育を実施する。		宮本 哲次

### 2016年度環境活動計画のポイント(水使用量削減編)

炭化水素使用量については、それを使用する洗浄機の状態が、使用量だけでなく洗浄品質にも大きく影響することから、洗浄機の毎日の始業点検及び定期メンテナンスを新たに活動計画の中に加えました。

その他については、昨年度概ね順調に推移したことから、前年同様の活動を実施することとしました。



## 5.環境目標と環境活動計画



来ハトメ工業株式会社

### (5) グリーン調達に関するもの

グリーン調達率(%)	2013年度	2014年度	2015年度
過去3年間の実績	75.18	80.42	80.52
項目	取組内容	実施責任者	
グリーン調達の 推進 2016年度目標値 グリーン調達率 81%以上	毎月のグリーン調達率を記録し、各月毎の見直しを行う。	福田 則子	
	物品購入時、カタログによりグリーン購入品を選別し、優先購入する。	福田 則子	

### 2016年度環境活動計画のポイント(グリーン調達編)

例年、グリーン調達品リストの年次更新を環境活動計画に盛り込んでいましたが、文具メーカーのカタログを見ればグリーン購入品の判別が可能であることと、リストを作成しても利用しないことの2点から、リスト作成は無駄と判断し、環境活動計画から除外しました。その他は、昨年度同様のスタンスにて、活動を進めることとしました。

### (6) その他の環境活動(継続的改善、法規制)に関するもの

項目	取組内容	実施責任者
環境への 取組の 継続的改善	各項目担当者から提案されるエコ替え提案について検討し、効果的且つ導入可能と判断されるものについては、その導入を検討する。	来 満 来 昌伸
	各種環境系資格(危険物取扱者、eco検定等)、労務系資格(フォークリフト技能者講習等)の案内と資格取得に関する支援を行う。	来 満 来 昌伸
	QC会議時にeco検定講習を実施する。	来 博行
	各種環境系セミナー等情報を入手し、その案内を行う。	石原 隆雅
事業活動に 適用される 環境法規制等の 遵守	事業活動内に該当する法令の改正状況を年1回調査し、改正あるものについては法令ファイルの入替を行う。	石原 隆雅
	工場稼働時の敷地境界における騒音の状況を確認し、記録する。	井出 学
	エアコン室外機の点検を行う。	田辺 栄一
	環境関連法規順守のための教育又は教育効果確認のためのテストとそのフォローを行う。	石原 隆雅

### 2016年度環境活動計画のポイント(継続的改善、法規制編)

継続的改善については、2015年度の活動をそのまま継続し、新たな取組みの追加はしていません。

法規制については、年初に行う「環境の取組の自己チェック」にて気づきを与えられたことから、敷地境界における騒音測定(騒音規制法、八潮市公害防止条例関連)と、業務用エアコン等の簡易点検(フロン排出抑制法(法改正対応))の2点を新たな取組みとして加えました。

## 5.環境目標と環境活動計画



来ハトメ工業株式会社

### (7) その他の環境活動に関するもの

項目	取組内容	実施責任者
環境教育・訓練 の実施	製造現場の作業に関連付けた形での環境教育を毎月実施し、実施状況の記録及び実施後のフォローを行う。	来 淳一郎
	2F作業現場の業務に即した環境教育を毎月実施し、実施状況の記録及び実施後のフォローを行う。	佐々木 勝
	備品に対するコスト意識、節約意識向上のため、各備品の価格表記を行い、その管理を徹底する。	大小堀 レオニラ
環境教育・訓練 の実施 (緊急事態の想定)	火災、地震避難訓練の事前準備及び実施指揮とその後のフォローを行う。	佐々木 勝
	製造現場内の油漏出訓練の実施の事前準備及び実施時期とその後のフォローを行う。	山崎 洋幸
	火災、地震時の心構えに関する教育を実施する。	佐々木 勝
	八潮市防火協会主催の消火訓練の案内と当日の指揮を行う。	来 昌伸 佐々木 勝
生物多様性の 保全と 持続可能な 利用のための取組	生物多様性の保全と持続可能な取組みに関連する教育を行い、実施状況を記録する。	石原 隆雅
	社内使用の紙製品は原則森林認証品を使用するものとし、切替がなされていないものについては順次切り替えを行う。	福田 則子
	会社に接する用水路の定点撮影を行い、状況を記録し、外来生物が確認された場合は、適切に除去する。	石原 隆雅
地域貢献	八潮市防火協会主催の環境ボランティア等の活動に参加及び参加の指揮を行う。	来 昌伸
	QC会議時に環境ボランティアの実施状況の報告を行う。	ボランティア参加者
	ペットボトルキャップの収集、寄付を通じた社会貢献活動を実施する。	来 博行
5Sの 徹底	各グループ毎月1個以上の5S活動を実施する。	全社員
	各グループの5Sの実施状況の記録及び掲示を行い、5S活動の活性化を促進する。	石原 隆雅
情報開示	当社環境活動レポート及び環境活動の状況をホームページにて公開する。	石原 隆雅

### 2016年度環境活動計画のポイント(その他の環境活動編)

上記その他の環境活動については、全ての項目について前年度の活動をそのまま継続するものとし、2016年度において新たな取組みの追加は行いませんでした。

# 6.環境関連法規



## 1) 法規制の遵守状況のチェック結果

### (1) 事業系一般廃棄物、産業廃棄物、PCB関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
廃棄物処理法	第3条	排出者責任の原則	受託業者の事業系一般廃棄物及び産業廃棄物許可証の写しを受領、確認済。	遵法
	第6条の3 第6項	事業者の一般廃棄物の処理	入口に掲示板を設置し、容易に立ち入れないようにPCB廃棄物を囲い、揮発防止のためペール缶に密閉保管。外側にはPCB廃棄物である旨の注意書きも添付。	
	第12条の2 第2項	PCB廃棄物の保管基準	2011年11月9日、越谷環境管理事務所に設置の届出済。	
	第12条の2 第6項	特別管理産業廃棄物管理責任者設置の義務	2016年度計16枚のマニフェスト交付事例あり。全て適正に記入され、保管もされている。また、これらの報告については、2017年4月10日、越谷環境管理事務所に送付、同日受理。	
	第12条の3 第1項	産業廃棄物マニフェストの交付	2016年度分の保管の届出については、2017年4月10日に越谷環境管理事務所に送付。同日受理され、書類の控えを適正に保管している。	
	第12条の3 第5項	産業廃棄物マニフェストの保存	高濃度PCB廃棄物(コンデンサ)については、2011年7月21日、JESCOに機器登録完了、2016年5月18日PCB廃棄物の説明会に参加、6月6日、中小企業者等軽減制度申し込み書提出、同11月30日運搬、同12月11日処理完了、2017年3月23日最終処分終了。	
	第12条の3 第6項	マニフェストに関する報告書の作成・報告義務	PCB汚染物(紙・袋)については、2016年3月3日「安定期等汚染物の処理に関する登録説明会」に参加、同4月5日に搬入荷姿登録のための書類提出、同4月11日登録料振込、2017年1月23日、中小企業者等軽減制度申込書提出、同6月14日搬入予定。	
PCB特措法	第8条	保管等の届出		遵法
	第3条 第10条	事業者の責務 期間内の処分		



## 6.環境関連法規



### (2) 各種リサイクル関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
資源有効利用促進法	第5条	消費者の義務	2016年度においてはパソコン処分事案は発生していないが、2013年2月の処分時においては、適正に処分を実施。書類も適正に保管している。	遵法
家電リサイクル法	第6条	事業者及び消費者の責務	2016年度においては特定家電の処分事案は発生していない。昨年度以降分のリサイクル券の控えは適正に保管されている。	遵法
自動車リサイクル法	第73条	再資源化預託金等の預託義務	2016年5月に社用車1台を更新。適正に手続きが行われていることを確認。	遵法
フロン排出抑制法	第5条第2項	事業者の責務(簡易点検の実施義務)	2017年2月から点検を実施。2017年度は5月、8月、11月、2月に定期点検実施予定(5月分については5月29日実施済)。 2016年度は業務用エアコン等の入替を実施していないため、同法の適用事例はないが、2011年度実施時に交付された「回収フロン破壊処理証明書」の保管は適正になされている。	遵法
	第5条第2項	事業者の責務(定期点検の実施義務)		
	第41条	第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務		

### (3) 典型七公害関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
騒音規制法	第6条	特定施設設置の届出	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	遵法
振動規制法	第5条	規制基準の順守義務	未測定(但し、近隣からの苦情は無く、届出時に八潮市役所による検査済)。	遵法
	第6条	特定施設設置の届出	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	
八潮市公害防止条例	第17条の1	特定工場設置の許可	届出済(平成22年5月7日許可番号0031号)。	遵法
	第18条の1	特定工場変更の許可	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	
	第20条	掲示板の設置	道路沿いの入口に設置されている。	
悪臭防止法	第7条	規制基準の順守義務	臭気を感じる事無く、近隣からの苦情もないことから、当社により住民の生活環境が損なわれていないと判断できる。	遵法

# 6.環境関連法規



## (4) その他の環境関連法規の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
浄化槽法	第5条	設置等の届出	届出済。	遵法
	第10条	保守点検及び浄化槽の清掃(浄化槽管理者の義務)	3ヶ月毎の保守点検及び清掃を実施。	
	第11条	水質に関する検査(定期点検)	2016年10月28日に実施(判定：おおむね適正)	
八潮市火災予防規則	第10条	火を使用する設備等の設置の届出	炭化水素貯蔵量980ℓのため、少量危険物取扱所に該当。八潮市消防本部に届出済。	遵法
消防法	第11条	危険物取扱者立会いの義務	2017年3月現在、危険物取扱者免状所持者4名。今後、更に増員予定。	遵法
	第12条	保安に関する講習受講義務	2016年度該当者2名、2016年7月22日に講習受講済。 2017年度該当者1名、2016年7月受講予定(申込完了)。	

## 2) 違反・訴訟の有無

環境法規等の逸脱はありませんでした。

また、過去5年間にわたって、違反や訴訟も1件も発生していません。

## 来ハトメ環境トピックス2017

### ② 2016年11月PCB廃棄物処理完了～当社がPCB廃棄物を処分するまで～

2011年7月、初めてのEA21中間審査が終わりホッとしたのもつかの間、ある現場作業員から、「PCB廃棄物が見つかった」との一報が……。

当時、PCB廃棄物についての知識など全くなかった私。ネットでJESCOの存在を知り、機器登録をしたり、特別管理産業廃棄物管理責任者の講習を受講したり、掲示板を設置したり…という動いてはみたものの、肝心の処分へは一向にたどり着けぬまま、2016年度へ突入。

しかし、3月の処理説明会参加後は急転直下とばかりに一気に進展！社内的には、契約直前になり、一時「処分費用が高すぎる！」などと批判の声を浴びせられる場面もあったものの、何とかこれを乗り切り、晴れて2016年11月に処分完了！！

少しだけ、肩の荷が下りた気分がしました(しかし、まだ、汚染物の処分(と、全然関係ないけど環境活動レポートの作成)が……)。(環境管理責任者)

来ハトメ工業PCB廃棄物処分全史

- 2011年 PCB廃棄物発見される  
JESCOに書類送付(数日後に機器登録確認書届く)
- 2012～14年 全く、動きのなかった3年間……  
この間、していたことは毎年の保管状況の報告のみ
- 2015年 少し、進展の予感……  
2月 JESCOより特別登録の申込書届く  
8月 越谷環境管理事務所からPCB立入検査実施の通知届く  
9月 PCB立入検査を受検、受検後緊急処理用PCB調査票を送付
- 2016年 急転直下、一気に処分へ  
3月 PCB廃棄物処理説明会開催の案内届く  
5月 PCB廃棄物処理説明会参加  
6月 中小企業者軽減制度申込書送付  
7月 中小企業者軽減制度審査結果通知届く  
8月 処理委託契約書届く、処理料金振込  
10月 収集運搬業者決定、委託契約  
11月 念願のPCB処分がここに実現！！




# 7.緊急事態の想定とその対応策

## 1) 想定される緊急事態

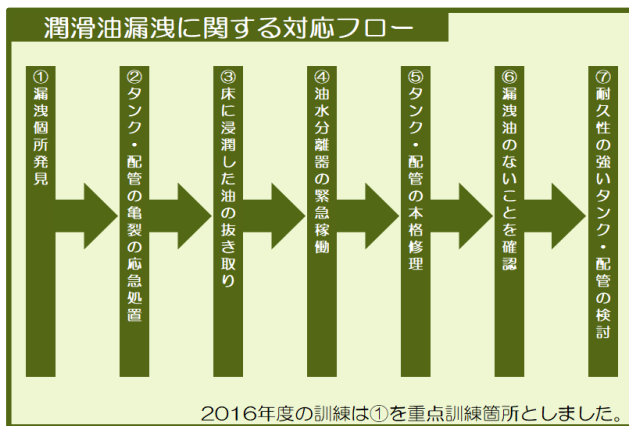
当社が現在想定している緊急事態は以下の3点です。

- (1) 潤滑油の漏洩
- (2) 地震
- (3) 火災

2016年度は、以上3つの緊急事態を想定した訓練を、下記の通り実施しました。

## 2) 緊急事態の対応及び訓練状況

### (1)潤滑油の漏洩を想定した訓練の実施状況(2016年11月4日実施)



今年度は、アルミスクラップ集積所のポンプ配管の破損を想定し、油はどのような経路をたどって漏洩するのかを確認するため、油に見立てた水を実際に床に流し、その動きを確認しました。

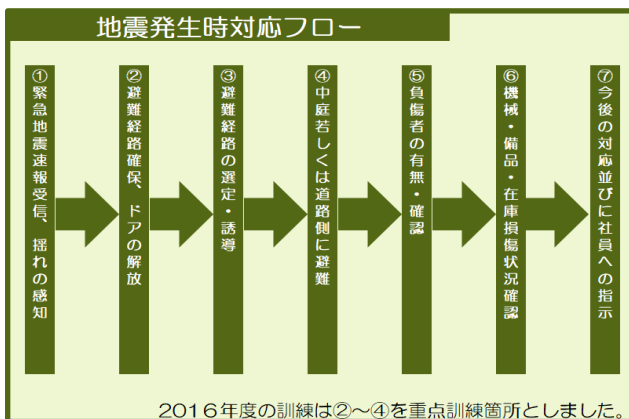


床に水を流して…

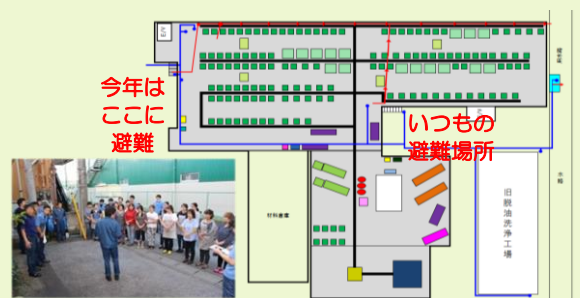


漏出時の油の動きを確認

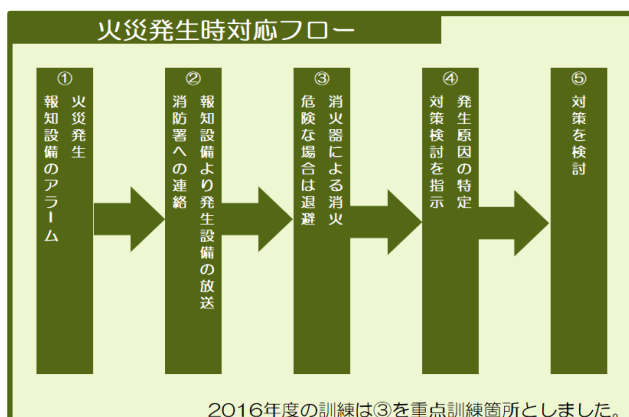
### (2)地震の発生を想定した訓練の実施状況(2016年10月24日実施)



今年度は出火等で中庭に避難できないことを想定し、避難場所を道路側に設定し、訓練を実施しました。



### (3)火災の発生を想定した訓練の実施状況(2016年10月24日実施)



水消火器を使った消火訓練を全従業員対象に実施しました。



訓練の成果は上々!ですね。



新人への指導は懇切丁寧に



# 8.教育訓練計画



## 1) 環境教育・訓練の概要

当社にて、2016年度に社内で行った教育・訓練は、下表のとおりです。

概要	訓練の内容	担当者	実施計画	実施状況
一般教育	製造現場従業員に対する全般的な環境教育	来 淳一郎	年12回	計画通り
	管理部門従業員に対する全般的な環境教育	佐々木 勝	年12回	計画通り
	電力に関する教育	田辺 栄一	年6回	計画通り
	エコドライブに関する教育(座学)	来 尊重	年4回	計画通り
	エコドライブに関する教育(実技)	来 尊重	年1回	計画通り
	廃棄物に関する教育(2016年度新設)	加茂 隆弘	年3回	年2回
	水に関する教育	宮本 哲次	年3回	計画通り
	化学物質に関する教育	宮本 哲次	年2回	計画通り
	eco検定講座	来 博行	年12回	計画通り
	生物多様性に関する教育	石原 隆雅	年6回	計画通り
訓練 (緊急事態 の想定)	潤滑油漏洩を想定した訓練	山崎 洋幸	年1回	計画通り
	地震・火災時の心構えに関する教育	佐々木 勝	年2回	実施せず
	地震・火災想定避難訓練	佐々木 勝	年1回	計画通り
	八潮市防火安全協会主催消火訓練	佐々木 勝	年1回	実施せず
法規制関連	環境関連法規遵守のための教育	石原 隆雅	年6回	年5回

## 2) 主な環境教育・訓練の取り組み事例

### 電力に関する教育

#### デマンドの基礎と社内ピークデマンドの実状について(2016年8月実施)

ピークデマンドの基礎的な事項の復習から始まり、デマンドを意識して節電することの必要性について詳しく解説。更に昨年度の傾向分析を踏まえた社内の実状と注意すべき日、時間帯に至るまでを提示し、全員に理解と注意を促すといった内容。

社内のデマンドという大変リアルな数字に基づき、デマンドを意識して節電することがいかに会社にとってメリットとなり得るかをわかりやすく説明した内容に、「興味深い内容だった」という感想も多数寄せられました。

2016年6月、7月、8月と2015年度とのピークデマンドの比較

ピークデマンドとは?  
使用した電力を30分毎に計算し、そのうち月間で最も大きい値のことをいいます。この値は、同時に使用する電気機器が多いほど、大きくなります。  
契約電力の決定方法については、当月を含む過去一年間の最大デマンドが契約電力となります。したがって、最大デマンドが大きくなると契約電力も大きくなります。電気の基本料金は、契約電力に基づいて算出しますので、最大デマンドの抑制が基本料金の低減につながります。

ピークデマンド目標設定値 275kwh	
1.	2015年度のピークデマンド最高値 1位 2015年8月19日 277kwh 目標値オーバー
2.	2015年度のピークデマンド最高値 2位 2015年8月19日 274kwh
3.	2016年度のピークデマンド最高値 1位 2016年7月7日、7月13日 272kwh
4.	2016年度のピークデマンド最高値 2位 2016年7月12日、7月20日 270kwh

デマンドの解説に加え、社内の実状が詳細にまとめられた資料(一部抜粋)

### エコドライブに関する教育

#### 実車によるエコドライブ講習(2016年11月実施)

冷たい雨が降る中実施されたエコドライブ講習。運転者を毎回変えることで、運転者、同乗者の立場から、エコドライブについて考える貴重な機会となっていることは、「年1回ではあるが、大変役に立っている」、「良い運転のための機会になると思う」という肯定的な意見が多く寄せられることから、窺い知ることが出来ます。

しかし中には、ごく一部ながら「マンネリ化しており、やらなくても良いのでは」との意見があるのも、また事実。次回以降、こうした否定派の方にどのような感動を与えられるか——。担当者の手腕が問われそうです。



「ただの運転風景」ではなく、「れっきとした講習風景」です。

## eco検定講座

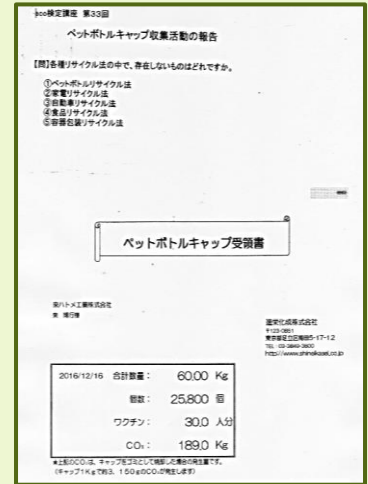
### 各種リサイクル法(ペットボトルキャップ収集活動とからめて)(2017年1月実施)

eco検定で過去に実際に出題された問題をベースに、そのテーマをさらに深掘りし、受講者に広範囲の環境知識の習得を促す内容となっていることが最大の特徴。

扱われるテーマも、eco検定だけにとっても幅広く、フェアトレード(3月)、CSR(4,5月)、水質汚濁(8月)、地球の生命誕生(9月)、大気汚染(2月)といった具合に、その範囲を満遍なく網羅。

さすがにその努力は受講者にもかなり響いているようで、「他の教育よりも回数が多いのに、毎回の準備など考えると頭が下がる」といったような意見も。

肝心な内容に関しては、「端的で分かりやすい」、「一般知識が広がる」、「情報量が丁度よく、記憶にも残りやすい」といった肯定的な意見が大多数を占めていることから、社員の興味を引き付ける、素晴らしい講習となっていることは間違いのないようです。



試験問題、関連事項を、バランスよく網羅された資料。

## 生物多様性に関する教育

### クイズでマスター生物多様性～生物多様性選手権～スタート(2016年9月～)

毎回、環境教育に関するアンケートを実施する度に頂く「生物多様性は難しい」、「あまり興味が湧かない」というネガティブな意見の数々……。これを粉砕すべく考えた次の手が、「毎回テストを実施する」ということ。

生物多様性関連の某書籍から引用し、問題を作成。受講者(解答者)の年間の得点を集計し、成績優秀者には出題担当者が昨年12月にエコプロダクツ展2016にてゲットしてきたノベルティグッズをプレゼント!という「エサ」もちゃっかり用意する周到ぶり……。

こうした努力の成果をアンケートから拾ってみると、「クイズ形式で大変有意義」、「楽しく学べてためになる」、「参加者の目つきが以前より生き生きしている」…と超好印象!でした。(「プレゼントが、楽しみ♡」という意見は残念ながら無かった、ですね……)。

クイズでマスター生物多様性～生物多様性選手権 第一回～  
(答えは全て下の回答欄にマークしてください(時間:3分))

第1問  
医薬品には、植物をはじめとする生物起源のものが数多く存在する。例えば、インフルエンザ治療薬として用いられているタミフルは、中薬理の材料としても知られる( )から抽出されたものである。

① 八角  
② 唐辛子  
③ 燕の巣  
④ ナツメ  
⑤ 松の実

第2問  
絶滅のおそれのある動植物の保護を行えば、生物多様性の保全をたといえる。

① ○  
② ×  
③ その他

第3問  
環境省版レッドリスト(レッドデータブック)2016年版に掲載されている種は、3,000種よりも多い。

① ○  
② ×

出典は、某書籍から。

## 廃棄物に関する教育(2016年度新設)

### 5分でわかるごみ問題(2016年6月)

2016年度より新設の廃棄物教育。その記念すべき一回目のお題は「5分でわかるごみ問題」というもの。

これを皮切りに、初年度は計2回実施(計画は3回)。主に燃やして埋め立てるのが主政策である我が国と、循環経済法の下、「経済活動を自然の循環の範囲内で」行っている欧州とを比較し、我が国のゴミ問題の問題を提起するという内容の講義が行われました。

「実生活に役立つ内容が扱われていてよかった」「ごみを焼却処分しているダントツ世界一の国が日本であることには大変危機感を覚えた」という意見からも、受講者の心に響く講義が1年目からなされたことは、間違いのないようです。

5分でわかるごみ問題

◆ゴミを一歳たくさん出している国は?

焼却率の国(OECD2008)	焼却率
日本	124%
アメリカ	35%
フランス	18%
ドイツ	15%
スウェーデン	28%
イギリス	5%

上の表からわかるように日本のゴミ焼却率はダントツで世界一です。これほど多くのゴミを出し、燃やしている国はありません。一人1年1トンのゴミを毎日出しており、年間で一家団から1〜2トンのゴミが出ているのです。ごみ焼却量は、ヨーロッパの先進国の約2倍以上、タイやシンガポールは世界一です。「燃やして埋め立て」という認識のもとヨーロッパなどの環境先進国でも、高い焼却率があるのです。このため、環境先進国を中心に「ごみゼロ社会」といった社会作りが実践されるようになってきました。ごみは燃やすことで焼却はしますが、それは、根本的な解決になりません。日本のゴミ処理は、根本的に間違っているのです。

記念すべき第一回目の資料(一部抜粋)

## 1) 主な環境負荷の実績と達成状況

## (1) 基準年度使用(排出)量との比較(総量ベース)

項目	単位	基準年度	使用(排出)量		基準年比増減 (▲:マイナス)
			基準年度	2016年度	
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	2013年度	326,337	299,131	▲27,206
電力	kWh	2015年度	562,463	623,392	60,929
LPG	kg	2010年度	717	505.95	▲211.05
ガソリン	ℓ	2010年度	3,447	2,573.89	▲873.11
灯油	ℓ	2010年度	1,480	1,641	161
事業系一般廃棄物	kg	2014年度	1,795	1,285	▲510
産業廃棄物(廃ウエス)	kg	2013年度	1,800	9,030	7,230
紙くず(リサイクル率)	%	2010年度	25.64	18.04%	▲7.60%
廃アルミ(有価物)	kg	2010年度	294,600	279,020	▲15,580
上水	m <sup>3</sup>	2015年度	405	418	13
炭化水素	ℓ	2015年度	12,600	16,000	3,400
潤滑油(ラタック)	ℓ	2010年度	28,018	35,000	6,982
グリーン調達率	%	2010年度	57.12	71.79	14.67

表中赤太字の項目は、基準年度より増加(悪化)している項目を表します。

## (2) 環境目標の達成状況

CO<sub>2</sub>排出量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
CO <sub>2</sub> 排出量	2013年度	総量(kg-CO <sub>2</sub> )	245,497	299,131	未達
電力使用量	2015年度	※1洗浄袋数(調整)原単位(kWh/袋)	20.84	19.49	達成
LPG使用量	2010年度	稼働日原単位(kg/稼働日数)	2.83	2.11	達成
ガソリン使用量	2010年度	総量(ℓ)	3,240	2,573	達成
灯油使用量	2010年度	稼働日原単位(ℓ/稼働日数)	5.81	6.84	未達

## 廃棄物排出量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
事業系一般廃棄物	2014年度	総量(kg)	1,777	1,285	達成
産廃(廃ウエス)	2013年度	総量(kg)	1,746	9,030	未達
紙くずリサイクル率	2010年度	※2紙くず(kg)/ゴミ総量(kg)×100	31.64%	18.04%	未達
廃アルミ(有価物)	2010年度	※1洗浄袋数(調整)原単位(kg/袋)	9.12	8.72	達成

## 水使用量

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
水	2015年度	総量(m <sup>3</sup> )	405	418	未達

## 化学物質使用量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
炭化水素	2015年度	洗浄袋数原単位(ℓ/袋)	0.47	0.51	未達
潤滑油(ラタック)	2010年度	※1洗浄袋数(調整)原単位(ℓ/袋)	0.87	1.09	未達

## グリーン調達

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
グリーン調達	2010年度	グリーン調達率(%)	81%以上	71.79%	未達

※1洗浄袋数(調整)原単位とその算出方法につきましては、当レポート19頁下段「解説」を御参照下さい。

※2ごみ総量(kg)：事業系一般廃棄物(kg)、産廃(廃ウエス)(kg)、紙くず(kg)の合計量となります。

表中赤太字の項目は、目標値未達の項目を表します。



## 2) 2016年度各項目毎の取組の評価と次年度以降の取組内容

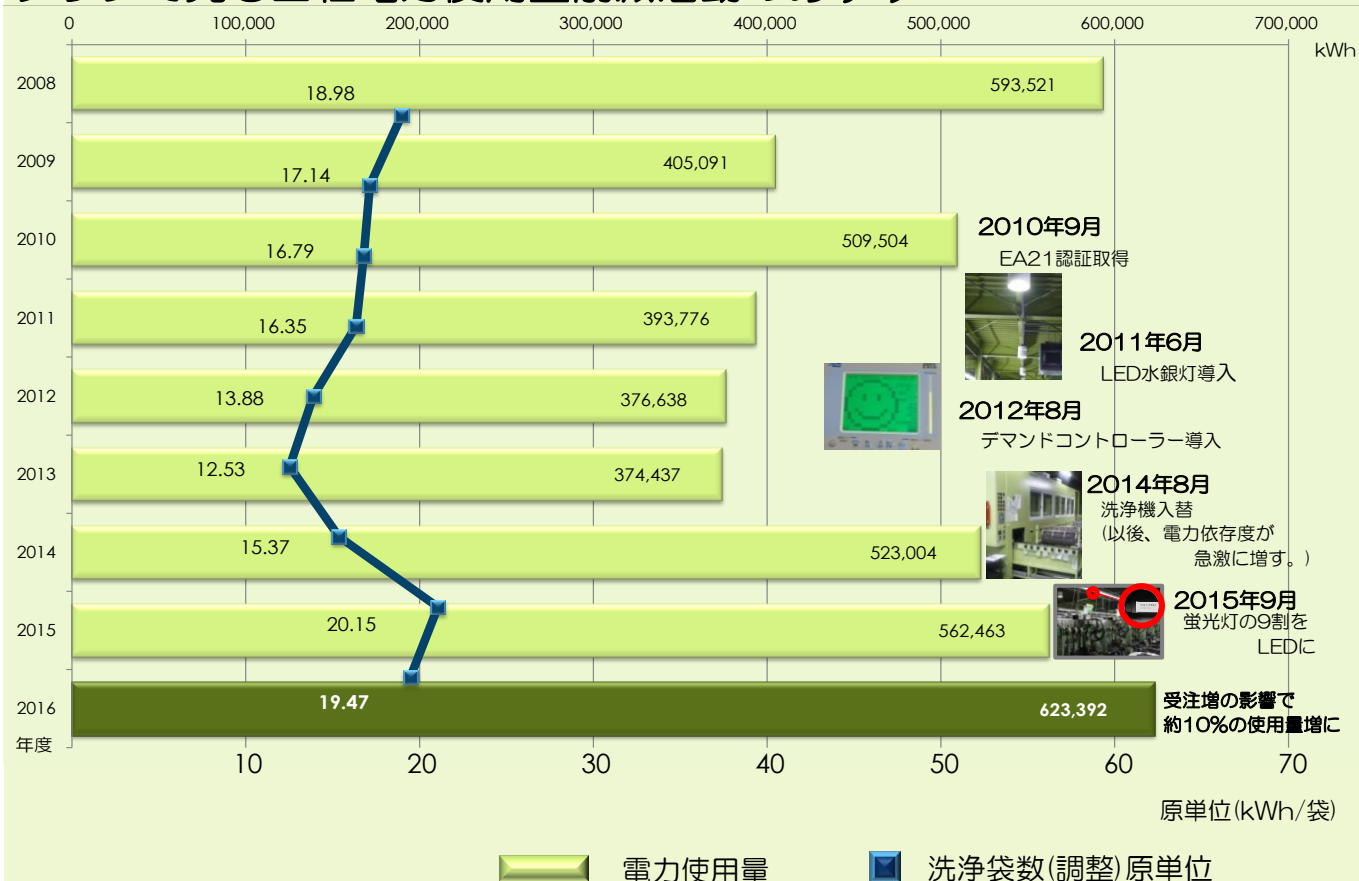
### (1) 電力使用量

生産量、稼働時間増の影響で使用量昨年度比10%増！  
業績好調でも達成し続ける仕組みづくりが今後の課題。

担当：田辺 栄一



#### グラフで見る当社電力使用量削減活動のあゆみ



### 2016年度の電力削減の主な取組み

デマンドを意識すれば全体の節電にも繋がるという考えの下、ピークデマンドの目標値を275kWに設定。デマンドコントローラーの警告表示が出た場合には、エアコンや在庫に余裕のあるアイテムの生産ラインを一時停止することで、設定値の逸脱の防止に努めました。その涙ぐましい努力により見事、目標達成(274kW)！しかし、一時エアコンを停止しなければならないことに、一部の社員からは強い反発も…。今後は、無理なく節電するための仕組みづくりを真剣に考える必要があることを、痛感させられました。

### 2016年度の総評と、次年度以降の取組内容(環境管理責任者)

生産が好調に推移したため、使用量ベースでは約10%増加しましたが、原単位ベースでは約3%減少したことから、当社の節電の施策自体の問題は無いものと判断しています。次年度以降については、従来のデマンド重視は踏襲しつつ、人的な無理を伴わず、しかも安価に節電を実現する策を、省エネ相談等を利用しながら地道に追求します。また、電力使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量削減のやや裏技的な手段とはなりますが、購入電力を電力会社のCO<sub>2</sub>排出係数で比較し、最も低い事業者に購入先を変更するという点についても、真剣に検討します。



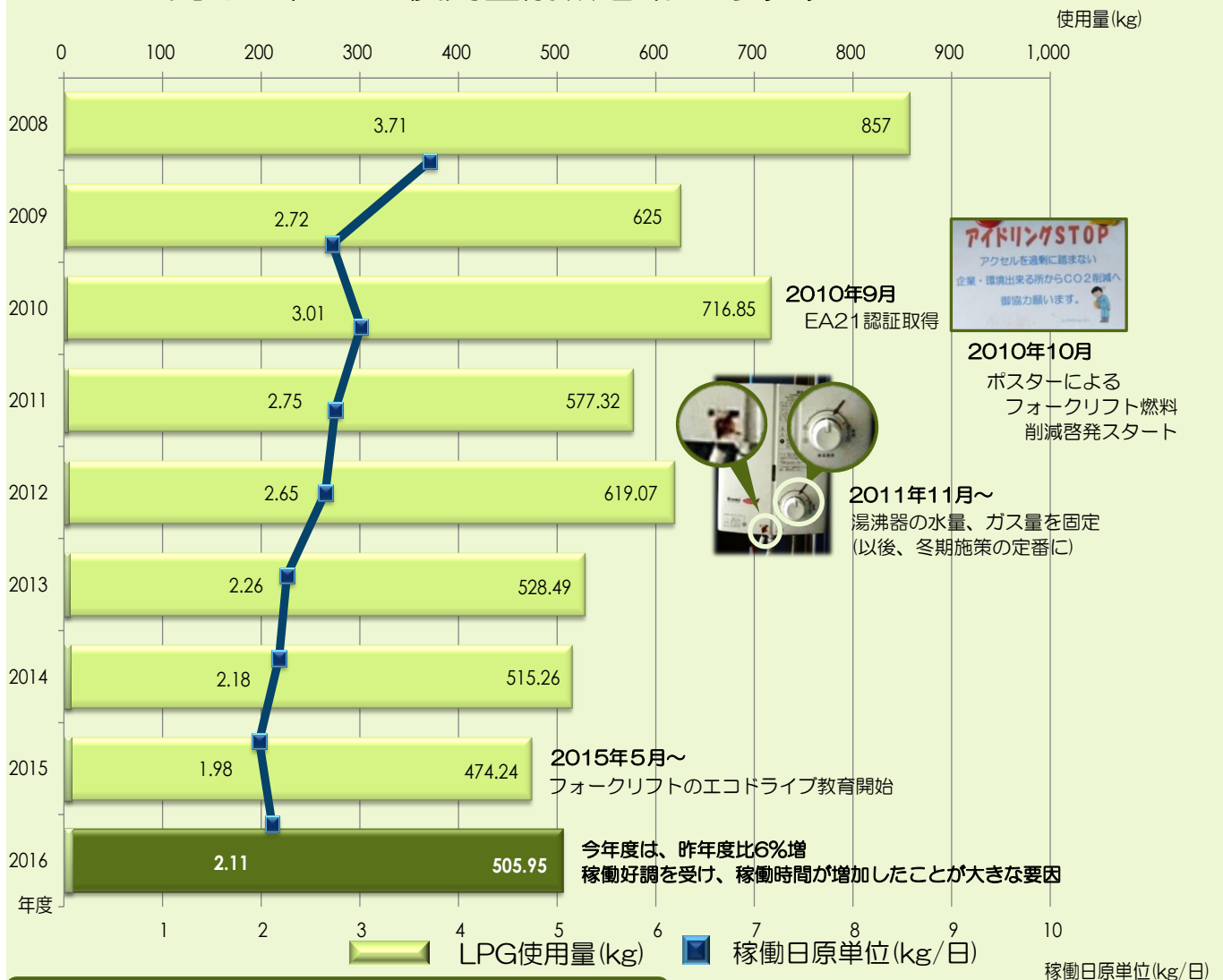
## (2) LPG使用量

使用量、原単位共に昨年度比約6%増ではあるが

昨年度より稼働時間が21%も増加したことを考慮すれば、妥当と判断。

担当：山崎 洋幸

### グラフで見る当社LPG使用量削減活動のあゆみ



### 2016年度のLPG削減の主な取組み

LPGに関しては、2015年度まで順調に減少を続けたことから、実施している施策が有効であると判断し、例年通り、①ポスターによるフォークリフトガス削減の呼びかけ、②冬期湯沸器使用ルールの実用、③フォークリフトエコドライブ講習の実施の3つを活動の柱とし、取組みを実施致しました。

### 2016年度の総評と、次年度以降の取組内容(環境管理責任者)

LPGは、使用量昨年度比6%増、実に4年ぶりの増加に転じるという結果に終わってしまいました。これは、昨年度よりも稼働時間が約21%増加した影響を大きく受けた結果であると分析しております。

従って、現在の施策には特に問題無しと判断し、次年度以降も、基本的に従来の施策を踏襲します。

### (3) ガソリン使用量

念願の社用車更新の恩恵を受け、使用量約21%の大幅削減が実現！  
エコカーの実力、恐るべし！！

担当：来 尊重



#### グラフで見る当社ガソリン使用量削減活動のあゆみ



#### 2016年度のガソリン削減の主な取組み

例年通り、エコドライブ啓発教育(年4回)、実車によるエコドライブ講習(年1回)を実施しました。

また、今年度2台ある社用車の内1台を更新。ハイブリッド車が選定され、前年度比使用量711ℓ減という好結果の大きな原動力となりました。

#### 2016年度の総評と、次年度以降の取組内容(環境管理責任者)

社用車の更新に際し、ハイブリッド車が選定されたことが奏功し、使用量が大幅に削減されたことは先述の通りですが、使用量の大幅削減という結果はさることながら、社用車選定に際しハイブリッド車が選定されたことは、ガソリン担当者の今迄の地道な啓発の成果にほかならず、これは、大いに評価されるべきことであると考えます。

現状の施策が、受講者を確実にエコな感覚に導くものとなっていることの一つの表れとも言えるでしょう。これからも、更に当社従業員のマインドをエコモードにシフトさせる強い原動力となり得る施策を実施し続けてほしい。そう心より願っています。





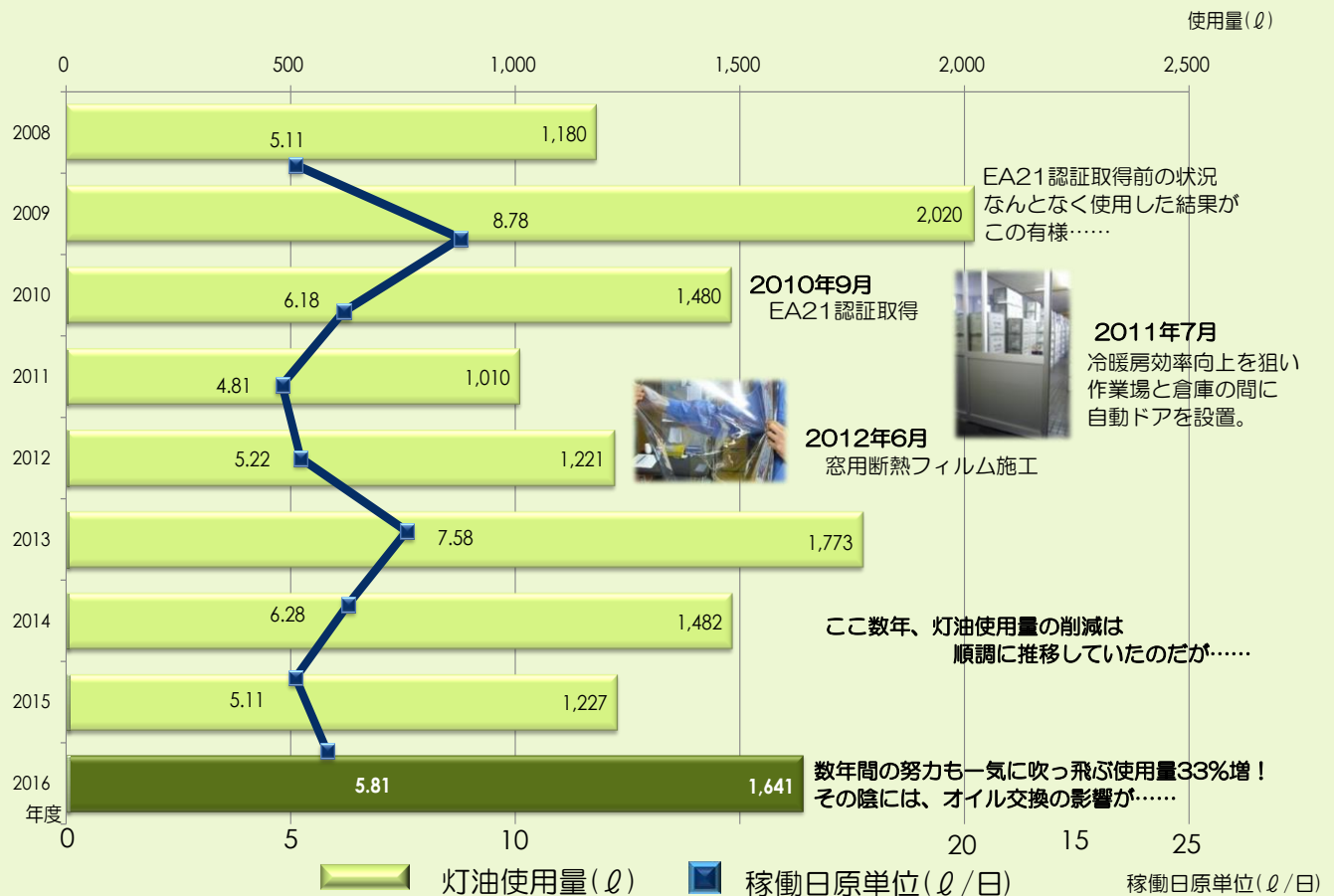
担当：三輪 千鶴

## (4) 灯油使用量

稼働時間増加だけでは説明できない使用量33%増。

その裏には、10月に行ったオイル交換(36頁参照)の影響も……。

### グラフで見る当社灯油使用量削減活動のあゆみ



### 2016年度の灯油削減の主な取組み

当社の灯油使用は、製造部門における溶剤としての用途と、管理部門における冬期の暖房機燃料としての用途の2通りがありますが、使用量としては、暖房機燃料としての用途が大多数を占めます。

そのため削減の取組も主に冬期の燃料としての用途に対する事柄が中心となり、暖房時の厚着(ウォーム・ビズ)の実施、暖房機の温度調節機能の活用といった活動が取組として実施されました。

### 2016年度の総評と、次年度以降の取組内容(環境管理責任者)

2016年度の灯油使用に関して特筆すべきは、10月に211ℓの購入実績があること。これは、10月に実施したオイル交換の際の洗浄剤(溶剤)として使用する目的で購入されたものです。その分を差し引くと1,430ℓとなり、例年と比較して良好な結果とは言えないものの、稼働時間が増加を考慮すれば妥当な結果であったとも言えるでしょう。

従って、今年度の増加は、無駄遣いが招いた結果であるとは言えず、施策についての問題も見受けられないことから、基本は今年度の施策を踏襲するものとします。しかし、今後のオイル交換の実施については、その環境側面の負荷の大きさから見ても、方法も含め慎重に検討すべきであると、言わざるを得ません。

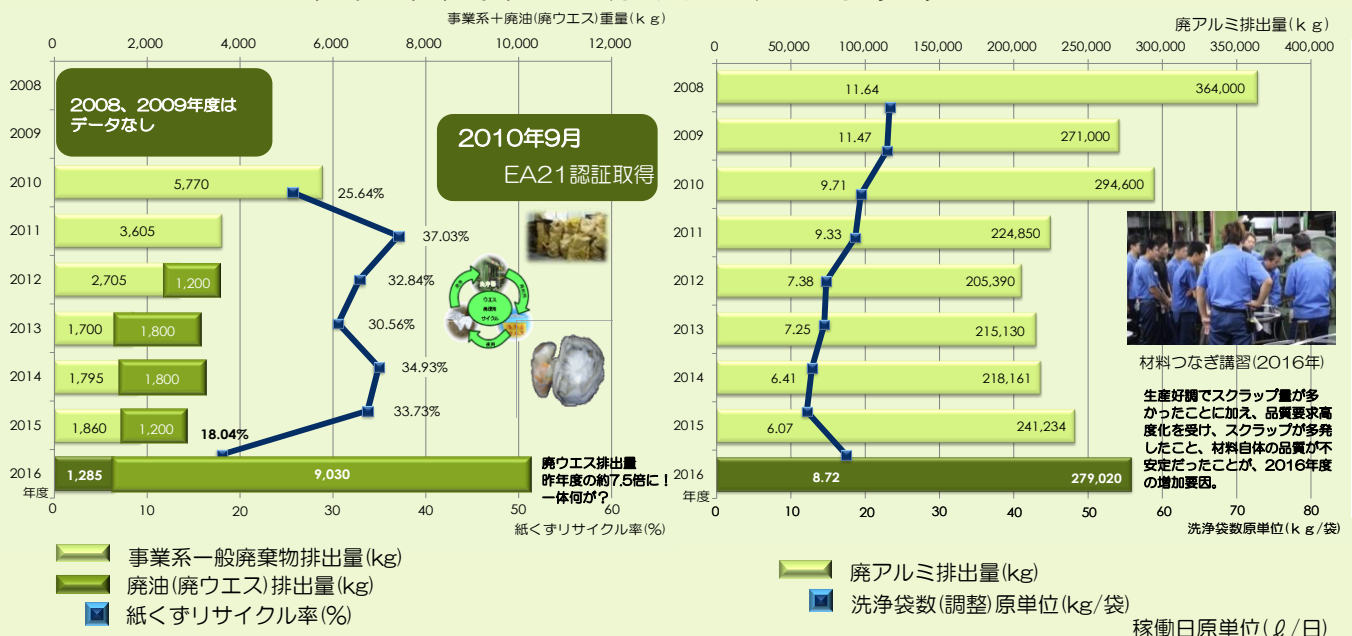
## (5) 廃棄物排出量

事業系一般廃棄物は昨年度の反省に基づく施策の成果が出たのか約31%の大幅削減を達成！その一方で、廃油(廃ウエス)は、約8.3倍も排出量が増加！！  
 廃油(廃ウエス)に、一体何があったのか？



加茂 隆弘(事業系一般廃棄物、写真上左)  
 セノ リト アンジェロ(産廃(廃ウエス)、写真上中央)  
 有山 浩一郎(紙くず(リサイクル)、写真上右)  
 井出 学、加藤 直(廃アルミ(有価物)、写真下左(井出)、下右(加藤))

### グラフで見る当社廃棄物排出量削減活動のあゆみ

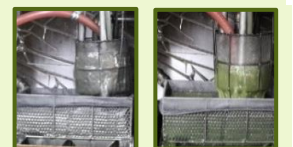


## 2016年度 廃棄物に一体何があったのか？

- ① 原油安の影響を受け、有価物の廃油が一時期産廃扱いに(6月)  
 洗浄機から発生する、洗浄液と炭化水素の混合物は、通常有価回収されますが、2016年6月に限り、原油価格下落のためという理由で、産廃扱いに(1,000ℓ)。
- ② 5Sの一環として、毎日5分間モップ掛けタイムを開始(8月～)  
 「工場内の床をきれいにしよう！」という社長の発案で、毎日15:00から5分間、工場内のモップ掛けタイムを設けることに。モップとして使用されるのは、汚れた廃ウエス。工場美化に繋がる素晴らしい取り組みではあるが、これにより廃ウエスの排出量は増加してしまふことに……。
- ③ わずか1回で、4年分の排出量…。潤滑油全交換(10月)  
 品質要求が超高度化する中、異物付着やキズ多発防止のための苦肉の策として実施したのが、この工場内潤滑油の全交換。2日にわたる全身油まみれの超重労働の末、工場全体に輝くようなオイルが通ったときの感動は筆舌尽くしがたいものがあったものの、数日後に届いたマニフェストに記載された数量(6,230kg)を見て言葉を失ったことは、言うまでもありません。



素晴らしい取組!だけど…



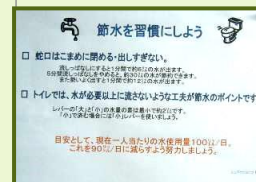
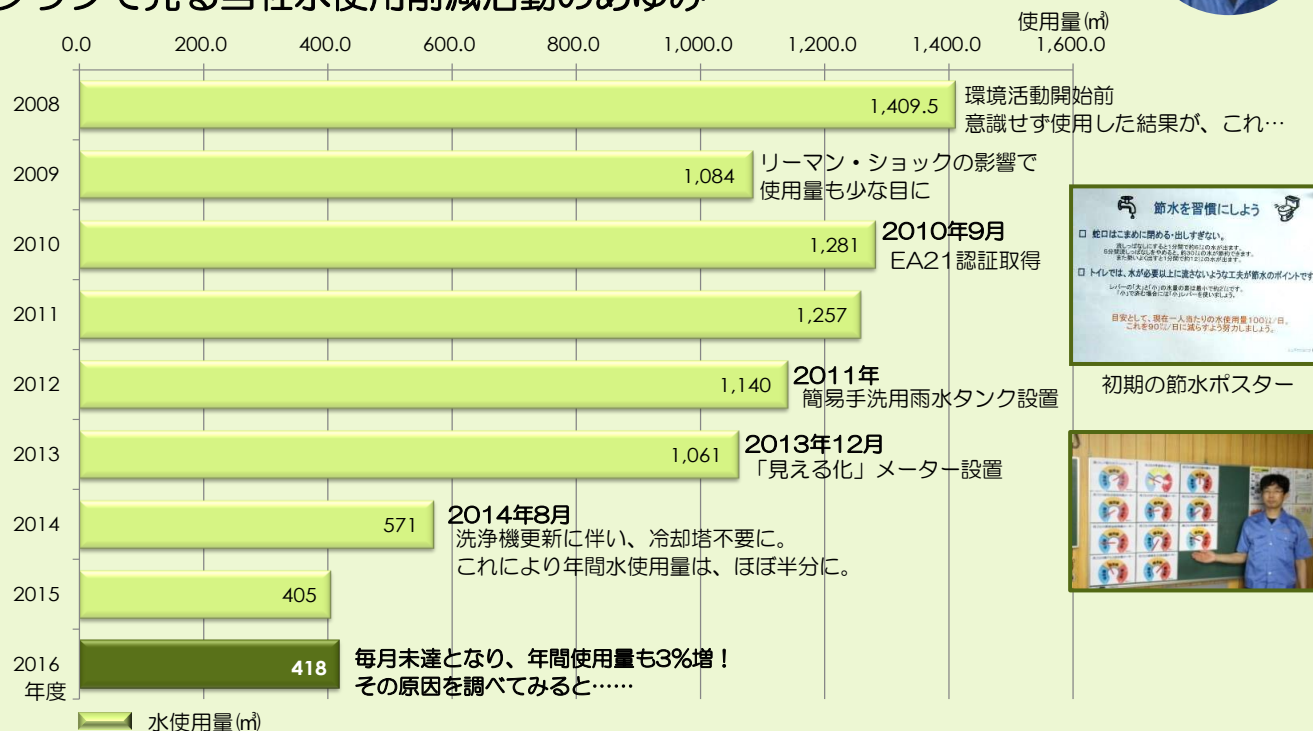
実施前(左)と実施後(右) この代償は、あまりにも大きかった……。

以上より、今年度は、不測の事態の発生と良品生産実現のため止むを得ず実施したことが重なり、廃油(ウエス)排出量の激増という結果に繋がったと説明できます。しかし、もし今後オイル交換を実施する際には、それが1度で当社の約4年分の廃油排出量に匹敵し得ることを十分考慮の上で実行すべき、という強烈な教訓をこの結果より得た次第です。

**(6) 水使用量** 様々な施策の甲斐なく、未達連続の不名誉な1年に……。その原因は、実は「意外な盲点」にあった！！  
担当：宮本 哲次



グラフで見る当社水使用削減活動のあゆみ



初期の節水ポスター



**2016年度 水使用削減活動に一体何が？**

**是正処置5回実施、それでも一向に改善せず…**

2016年度の水使用量の月間目標値(33.5m³)をどうしてもクリアできず、その結果年間5度の是正処置を実施することに。

その度に漏水箇所の確認、社員の水使用状況の監視、ポスターの設置、会議における啓発…と様々な策こそ講じはするものの、一向に状況は好転せぬまま年度末に突入。拳句の果てには「目標値が厳しすぎるのでは」と担当者からの泣きが入る始末…。そこで水使用と社内の状況を様々な角度から分析することに。そこで見えてきたのは「意外な盲点」ともいべきことでした。



節水啓発も実らず……

**2015年度と稼働時間を比較してみると…**

2016年度は、好調な受注に対応すべく、年間を通じて朝7時からの操業をはじめ、特に年末には、土曜出勤を毎月のように実施したことから、約21%年間の合計操業時間が増加していたのです。そこで、水使用量を合計稼働時間で割って稼働時間原単位の形で水使用量を分析してみると、上の表が示す通り、2015年度よりも良好な状況であったことが分かったのです。

稼働時間を基にした2016年度水使用量状況の分析

	2015年度	2016年度
水使用量 (m³)	405	418
年合計稼働時間 (h)	1,885	2,284.5
稼働時間原単位 (m³/h)	0.21	0.18

当社の場合、生産活動における水使用はほとんどなく、残りの大多数はトイレ等、従業員の日常生活に起因するものとなり、それらは、稼働時間が長ければ長いほど使用の機会が増加する性質のものであるため、稼働時間の増加に伴い見かけの水使用量が増加してしまったものとするのが妥当であると考えてに至りました。

**そこで、次年度以降は**

この分析結果を代表者に報告し、次年度以降の水使用量は「稼働時間原単位」にて評価するのが妥当ということで意見が一致。現在実施中の施策はそのまま踏襲し、削減活動の評価方法を「稼働時間原単位」として活動していくことに決定しました。

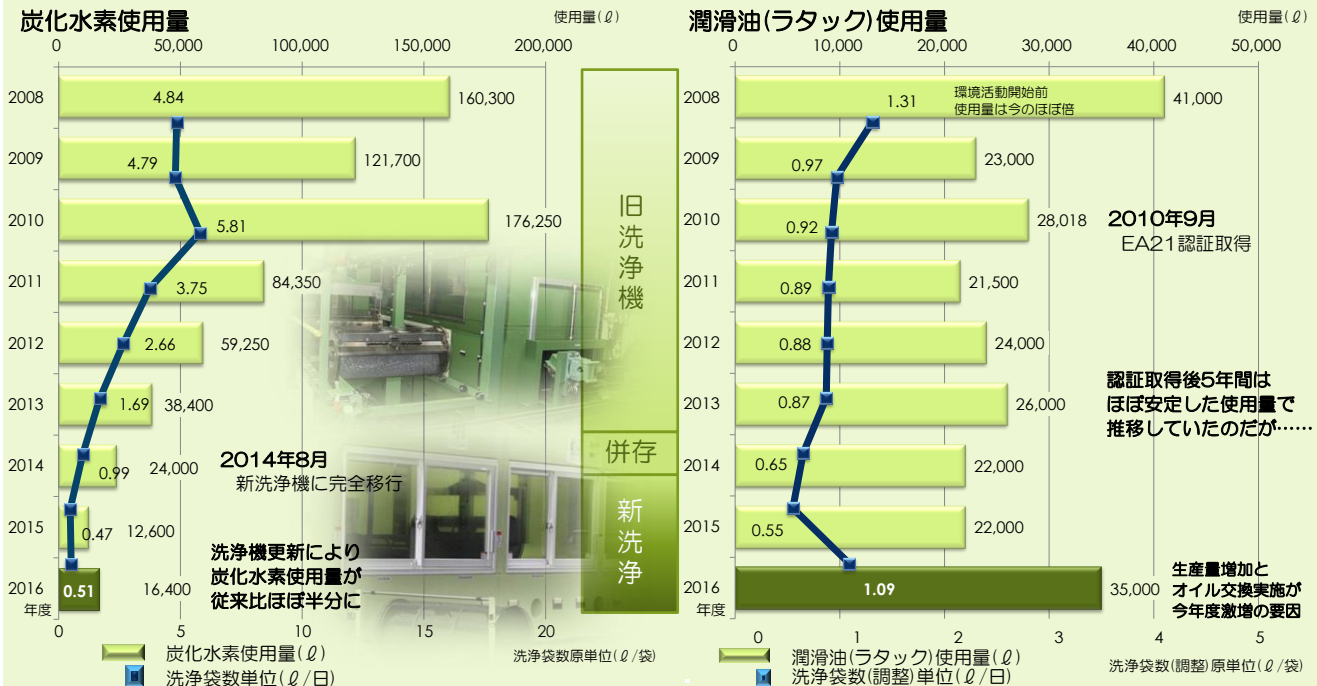


## (7) 化学物質(炭化水素、潤滑油)使用量

どちらも、前年度比30%(炭化水素)、60%(潤滑油)の大幅増に！  
 ここでも、10月に実施したオイル交換が、大きな影を落とした…。



担当：齊藤 進(炭化水素、写真左)  
 来 淳一郎(潤滑油、写真右)



### 2016年度の化学物質使用量削減の主な取組

#### 炭化水素

始業点検(毎日)と定期メンテナンス(1回/1~2ヶ月)を実施しました。

#### 潤滑油(ラタック)

新油を点滴して使用した場合、歩留まりは向上するものの、手動で油の供給や油量の調整をするという余計な工程が必要となります。また、これは潤滑油の使用量の面からも大変不利な方向に働くため、出来る限り新油点滴に頼らず生産することを目標としております。そのため、技術者と協力し、新油点滴をせずに生産する方法を模索。その結果、2009年12月(EA21試行運用開始前)には16台あった新油点滴プレスは、2016年度末現在では3台まで減少させることに成功しています。

### 2016年度の総評と、次年度以降の取組内容(環境管理責任者)

2016年度は炭化水素約30%、潤滑油に至っては約60%、それぞれ使用量が増加に転じてしまいました。これは、生産量の増加(15%増)の影響、灯油(35頁)や廃棄物(36頁)の項目でも述べたオイル全交換の影響(潤滑油)、異物付着対策のため定期的な洗浄槽清掃と炭化水素交換をすることになった影響(炭化水素)によるものです。従って、ここでもオイル交換の実施が大きな影を落としたと言えるでしょう。

潤滑油については、昨年度の増加がオイル交換によるものであったため、次年度以降の削減は十分可能でしょう。しかし、炭化水素については、異物付着防止のため、今後定期的な槽洗浄や炭化水素の交換が実施され、それに伴う使用量増加が見込まれる状況です。環境保全の面から言えば反対したくなる行為ではありますが、製品の品質に係る部分なので、やむを得ません。従って、それに伴う増加量を注意しながら取組を進めることとなりますが、場合によっては基準年度や目標値の変更の検討も必要となるかも知れません。

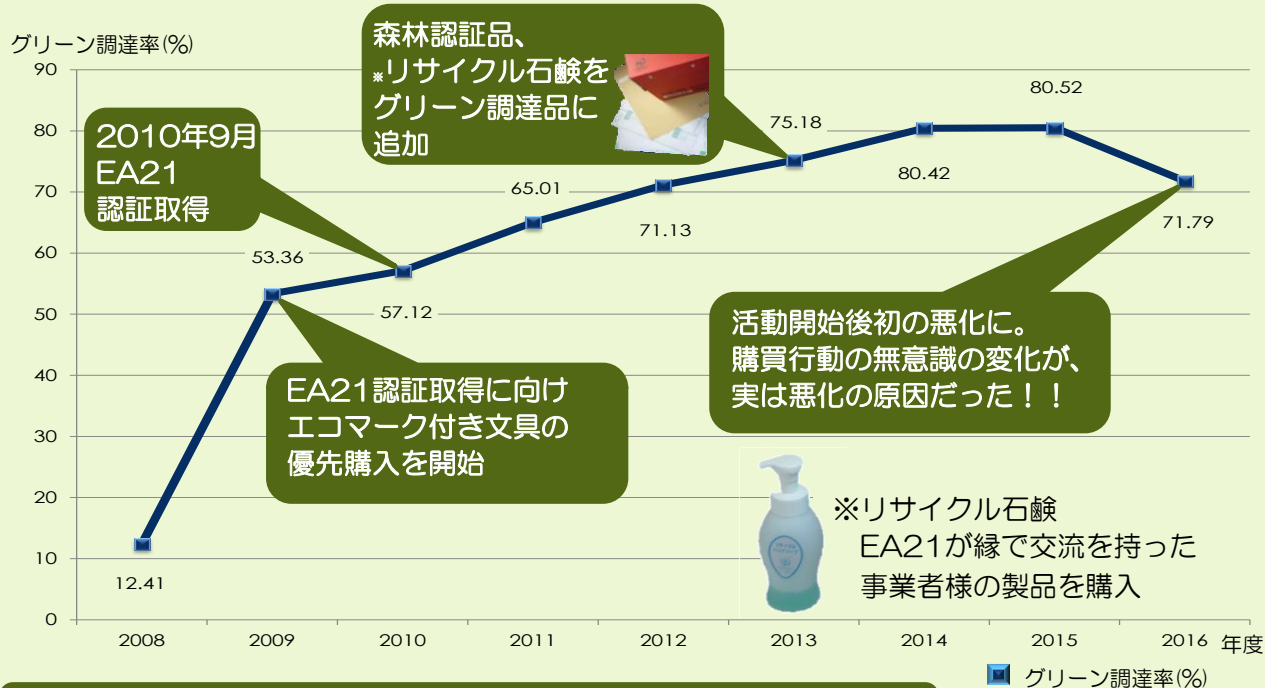
## (8) グリーン調達率の推進

何と、EA21認証取得後初の下落に！  
その裏には、一体何があったのか？



担当：福田 則子

### グラフで見る当社グリーン調達率の推移



### 2016年度 グリーン調達率下落の背景とは？

#### 2014～2016年度のグリーン調達率の状況を再点検してみると……

グリーン調達率約9%大幅下落の反省を受け、過去3年間のグリーン調達率の状況を再点検することに。その調査により、文具のみに潜んでいた盲点と社内の購買行動の変化の2点が、2016年度下落に転じた要因であることが、判明しました。

#### 文具に潜んでいた盲点とは

当社では、エコマーク、森林認証品付き製品をグリーン調達品として、購入活動を管理していますが、ボールペンの替え芯、修正テープのカートリッジ等の一見環境に優しそうな製品は、エコマーク無しがほとんど。環境配慮の行動として、替え芯、詰替え品等の使用を推奨した結果が、グリーン調達率悪化の一つの原因であったことは、大きな盲点でした。

#### 調達行動の無意識の変化が、グリーン調達率悪化の最大要因だった！

当社では、環境活動開始以来、最も評価が行いやすい文具通販業者の明細からグリーン調達の実績を拾い、評価を行ってまいりました。以前は、こうした業者から日用品を購入することは殆どありませんでしたが、特に2016年度から、食品、洗剤、電気製品といった日用品の購入件数が急増。その結果、エコマーク無しの品目が多数混じってしまう事態となり、グリーン調達率を大きく押し下げることに繋がってしまったのです。

#### そこで、次年度以降は

この調査結果を基にグリーン調達担当者との話し合い、2017年度は以下の取組をしていくことを決定しました。

まず、ボールペンからシャープペンシルへの切り替えの推進。シャープペンシルは、ボールペンと異なり、替え芯もグリーン調達適合品から選べるという利点があります。

次に、日用品に関しては、特に石鹸、洗剤の購入品目の見直しを行うこと。掃除用洗剤等には、残念ながらグリーン調達適合品が無いものの、手洗い石鹸や、台所洗剤、洗濯用洗剤については、ヤシノミを原料とした製品(RSPO認証取得品)を選択可能。こうした行動により、利便性を損なうことなく悲願の「グリーン調達率81%以上」実現すること。これが、2017年度の目標です。

## (9) その他の環境活動

### i) 地道な活動が、市内を美しく変えていく！?(環境ボランティアの実施)

八潮市防火協会が月に一度実施している清掃ボランティアに、当社からは7名の有志が、この活動に賛同し、自主的に参加。非常に地道な活動ですが、活動を重ねるごとに、環境美化への思いが強固なものになっていくのだとか……。



左の写真は2016年8月、親子で清掃ボランティアに参加した加藤さん親子の活動の様子。「息子にもボランティアを経験させてあげたい」という強い親心から、初の親子参加がここに実現。息子さんにとっても、きっとかけがえのない経験になったことでしょう。

### ii) 当社にもできる、命を救う活動(ペットボトルキャップ収集)

2016年12月、2年8か月がかりで、当社として初のペットボトルキャップ寄付までこぎつける時を迎えることができました(右がその受領書)。多数の社員が各家庭などを巻き込み、集まった数の合計は実に25,800個！ワクチンに換算すると、実に30人分！！

ペットボトルキャップ受領書

来ハトメ工業株式会社  
来 博行様

進栄化成株式会社  
〒123-0851  
東京都足立区梅田5-17-12  
TEL: 03-3849-3600  
<http://www.shinekasel.co.jp>

2016/12/16	合計数量:	60.00 Kg	
	個数:	25,800 個	
	ワクチン:	30.0 人分	
	CO <sub>2</sub> :	189.0 Kg	

\*上記のCO<sub>2</sub>は、キャップをゴミとして焼却した場合の発生量です。(キャップ1Kgで約3.150gのCO<sub>2</sub>が発生します)

これまでの累計	受領個数	25,800 個	ワクチン	30 人分
---------	------	----------	------	-------

拝啓 請下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
 ペットボトルキャップの回収にご協力頂き有難うございました。上記数量を確かに受領いたしました。  
 受領いたしましたキャップは、当社でリサイクル原料として利用しています。  
 ワクチン寄付は、弊社より「緑心PO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会 (JCV)」へ  
 直接寄付をします。  
 今後とも宜しくお願いいたします。

敬具



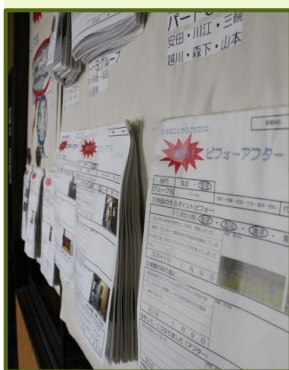
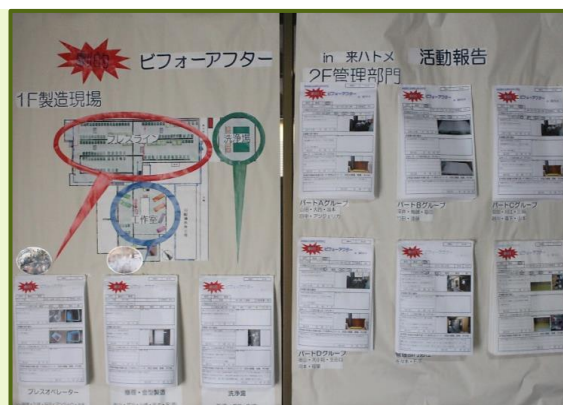
もちろん、この活動は今この瞬間も継続中！  
 左の写真は、次の寄付の時を待ち続ける、ペットボトルのキャップ達。  
 少しでも早く、誰かの役に立ちたい——。この袋の中には、当社社員のそんな想いが、たくさん詰まっているのです。



iii) 会社を変える、全員参加活動(5Sの実施)

2014年1月、売上がどん底に落ち込む中、「地道な取り組みで会社を変えていこう!」という呼びかけの下産声を上げた当社の5S活動。

その活動の様子が克明に綴られた、言わば全社員の取組の軌跡の生き証人こそ、右の「劇的ビフォーアフター in来ハトメ 活動報告」掲示板。



ちなみに、この掲示板を横から見た様子が、こんな感じ。

重ね貼りされた報告書の厚みから、長きにわたり地道に活動を続けてきたということを感じ取って頂けることでしょう。

あと、もうそろそろ、掲示板のリニューアルについても、考えてみようと思います。

iv) インターネットで、当社レポートを読んでみよう(情報開示の取組)

当社では、出来るだけ多くの方に、当社環境活動の軌跡をお知らせしたいという思いから2011年版以降の全てのレポートを、自社のホームページ上で公開しています。

当社URL <http://www.rai-hatome.co.jp>

トップページ(右写真)の右下「ニュース」欄からお入りください。



当社環境活動レポートは、実は自社サイト以外でも閲覧可能!なのです。

CSR図書館.net(左写真)がそれ。中央の「報告書検索」欄の企業名入力欄に「来ハトメ工業」と入力し、検索をクリックしてみてください。

2015年版、2016年版の当社環境活動レポートが閲覧可能です。

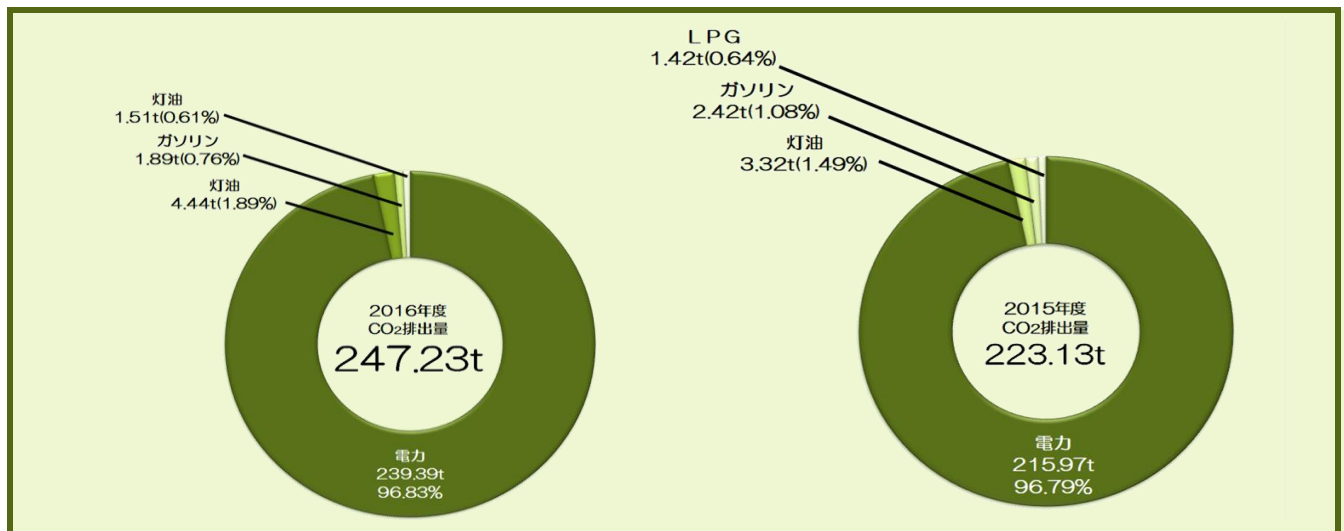
CSR図書館.net

URL <http://csr-toshokan.net/>

### 3) CO<sub>2</sub>排出量から考える今後の当社環境活動の方向性 電力使用量との向き合い方が、今後の活動の成否を決める

下のグラフは、2016年度と2015年度のCO<sub>2</sub>排出量とその内訳を示したものになります。生産量約14%増加の影響に伴い、結果的にCO<sub>2</sub>排出量は約10%、量にして約24.1tの増加という結果に終わってしまいました。

当社のエネルギー使用量の内訳の内、特徴的であるのは、電力の割合が96%以上と圧倒的に多いこと。従って、CO<sub>2</sub>排出量の大幅削減のためには、電力量をいかに抑えられるかに活動の成否がかかっているということは容易に想像できましょう。



2016年度、2015年度の当社CO<sub>2</sub>排出量とその内訳

### 今後の活動の成否を決めるのは電力使用量との向き合い方

電力使用によるCO<sub>2</sub>削減というと、まず真っ先に思いつくのが、「節電」。環境活動開始当初であれば、「電気スイッチをこまめに……」とか、「エアコンの設定温度は……」という決まり文句に行きつきたくなる。しかし、当社は既にEA21認証取得からまる7年をとうに過ぎ、8年目に突入している、いわば「環境活動中級者」。このお題目にすぎることの効果に限界があることには、うすうす感づいているところです。

それでは、どうするつもりなのか——。今具体的に考えており、2017年度中に実行に移す予定であることは「専門家の英知の拝借」と「電気の「作られ方」に着目」という2点。非常に抽象的なこの2語の意味するところに触れながら、毎度のことながら長々と綴ってきた今年度のレポートを締めくくります。

#### 「専門家の英知の拝借」とは

環境活動専門家と聞いて真っ先に思い浮かぶのは、やはり「EA21審査人」。審査人の先生方は、御自身が省エネ等に関して熱心に勉強なさっているだけでなく、それらを事業者に落とし込むための知恵を多数持っておられます。それなら、それを利用しない手はない！ある審査人の先生は、「プレスに使っているVベルトを「省エネVベルト」というものに替えてみるといいよ」と大変適切かつ具体的なアドバイスを下さいました。こうした英知をフル活用し、現状の小変更だけで可能な省エネに徹底的に取り組んでみることにします。

#### 「電気の「作られ方」に着目」とは

遂に今年度レポートの最後になってしまいました。そこで、実に最後にふさわしい(?)電気の「作られ方」について。電力と一言で言っても、石油や石炭を豪快に燃やして作るものもあれば、太陽光や風力といったクリーンなものまで、その作られ方は実に様々。こうした世の中にあまた存在する電力会社の中には、グリーン電力をメインに取り扱う事業者があることを、実は最近知ってしまったのです。それに切り替えることで、どれだけのCO<sub>2</sub>排出量削減が実現できるのか——。今後の当社の環境活動にもぜひ注目して頂ければと思います。

## 1) 代表者レビュー

EA21の認証を頂いて7年が過ぎ、私ももうすぐ70歳になります。

この7年間で会社が黒字だったのは、認証を頂いた年のみで、その後6年間は赤字続き。EA21の活動がどんどん活発になるのに、会社は停滞したまま。このままでは会社もEA21も共倒れになるかも知れないと不安になることもありましたが、今年になって少しずつではありますが、確実に業績が上向いてきました。

EA21の活動も同様で、環境管理責任者の情熱的な粘っこさが活動自体を借りものから自前のものに変えつつあり、いよいよ自律的に動き出す雰囲気が出てきました。

7という言葉は、中国語で音の高低は違うが「起」と同様でチィ「qi」と発音します。

「起」は物事が上昇に向かう、発展するという意味がありますので、本年は、いよいよ会社も上昇に転じ、EA21の活動も着実な発展の基礎固めができる年になりそうです。



# 10.代表者による見直し結果



## 2) 2017年度以降の目標

生産量が増加傾向で、省エネ、省資源の実現には、相当な努力と、全員の知恵の結集が不可欠です。

2017年度以降は、この様な困難な中ではありますが、下記目標の達成に向け、全従業員が努力を傾けることに期待します。

項目	基準年度	削減目標			
		2017年度	2018年度	2019年度	2030年度
CO <sub>2</sub> 排出量	2013年度	26.5%削減	28.3%削減	30.2%削減	50.0%削減

※ 削減目標の根拠：まず、基準年度(2013年度)とゴール(2030年度)については、COP21の国の約束草案に合わせることにしました。

当社は、今年度は下回ることができなかったものの、昨年度(2015年度)、国の約束草案の目標値(2013年度比△26%)をクリアしました。そこで、現状に満足すること無き様、2015年度のCO<sub>2</sub>排出量の実績値(251,377kg-CO<sub>2</sub>)をスタートラインとし、それをCOP21の目標年(2030年)までの15年間に半減させるという目標を掲げ、取り組むことにしました。

尚、2017年度以後の各年度の目標値は、2013年度の実績値(326,337kg-CO<sub>2</sub>)から2030年度目標値(163,168.5kg-CO<sub>2</sub>)を減算し、それを目標年までの年数(15年間)で均等割りし、年間削減目標を算出しました。

項目	基準年度	※削減目標		
		2017年度	2018年度	2019年度
電力	2015年度	原単位△2%	原単位△3%	原単位△4%
LPG	2010年度	原単位△7%	原単位△8%	原単位△9%
ガソリン	2010年度	総量△7%	総量△8%	総量△9%
灯油	2010年度	原単位△6%	原単位△7%	原単位△8%
事業系一般廃棄物	2014年度	総量△2%	総量△3%	総量△4%
産廃(廃ウエス)	2013年度	総量△3%	総量△4%	総量△5%
紙くず(リサイクル率)	2010年度	6%向上	7%向上	8%向上
廃アルミ	2010年度	原単位△7%	原単位△8%	原単位△9%
水	2015年度	原単位△1%	原単位△2%	原単位△3%
炭化水素	2015年度	原単位△1%	原単位△2%	原単位△3%
潤滑油(ラタック)	2010年度	原単位△6%	原単位△7%	原単位△8%
グリーン調達率	—	81%以上	82%以上	83%以上

※ 削減目標について、昨年度未達の項目については、2016年度の削減目標値を目標値とします。

※ 削減目標に「原単位」とあるものについては、下記の原単位を目標値とします。

電力、廃アルミ、潤滑油：洗浄袋(調整)原単位  
調整方法については、当レポート19頁「解説」参照。

炭化水素：洗浄袋(調整不要)原単位(使用量÷洗浄袋数(袋))

LPG、灯油：稼働日原単位(使用量÷稼働日(日))

水：稼働時間原単位(使用量÷稼働時間(h))

来ハトメ工業(株)  
取締役会長(EA21代表者) 来 満



これからも、EA21と共に